



龍谷大学
RYUKOKU UNIVERSITY

Study Abroad Handbook

Faculty of International Studies

www.world.ryukoku.ac.jp



龍谷大学 国際学部 教務課
RYUKOKU UNIVERSITY

深草キャンパス 〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67

国際学部 教務課
Tel 075-645-5645 Fax 075-645-6444
world@ad.ryukoku.ac.jp

留学サポートデスク
Tel 075-645-5651 Fax 075-645-5652
studyabroad@ebisu.fks.ryukoku.ac.jp

はじめに

今、このハンドブックを読んでいる人は、留学に関心のある人々でしょう。と言うより、留学に関心があり、初めから留学を志してこの学部・学科に入学してきた、留学に強い憧れと意欲を持った人だと思います。

国際学部は、全学の中でも特に留学を牽引する学部で、グローバルスタディーズ学科は半期以上の留学を必須としており、国際文化学科も留学を推奨しています。

さて、留学とは別に「遊学」という言葉もあります。「遊学」を『日本国語大辞典第二版』で引くと、「故郷を出て、他の土地・国へ行って学問すること。留学。」とあります。「遊」は、遊ぶことではなく、他の土地に行くことで、学問が主体です。また、「留学」は、「よその土地、特に外国へ行って、比較的長期間にわたって学問や芸術・技術などを学ぶこと。」とあり、違いは、「比較的長期間にわたって」というところにあるようです。

仏教語では「留学生」は「るがくしょう」と読み、「遣隋使・遣唐使に便して、中国や朝鮮の新羅などに派遣され、長期間に学問・仏教を学ぶ者(『岩波仏教辞典』)」の意味で、滞在期間は20年から30年に及びました。遣隋使での南淵請安(7世紀初)は32年、遣唐使での吉備真備(8世紀初)は17年滞在了ました。また、日本の真言宗の開祖・空海(9世紀初)は、当初、20年の間中国(唐)に居住して、仏教を中心とする学問をする学僧(留学生)の立場で渡航しました。この時代には、比較的長期間とはいっても非常に長い年月が想定されていたわけです。

時代は変わって、現代の「留学(りゅうがく)」は、数か月から半期といった期間の滞在から、1年といった比較的長い期間の海外生活を指しています。奈良・平安時代の「留学(るがく)」と比べると随分短期間になりました。

私自身は、2012年度に、長期国外研究員に採用していただき、ドイツ・ベルリンに1年間留学して、研究生活に専念する機会を得ました。研究所が休日となる土日を利用して、各所に出かけましたが、特にクリスマスマーケット(Weihnachtsmarkt)は印象に残っています。ベルリン市内各所の著名マルクトはもとより、ほとんど観光客の行かない地域のマルクト、ポーランド人のマルクト、世界的に有名なニュルンベルクのマルクトなど、10か所を見学しました。キリスト教文化圏の人々の生活の一端を知ることができました。このように、観光ガイドブックなどからは得られない貴重な情報が、1年のサイクルの中で知りうる機会が多いと思います。

異文化を知るのには、やはり長期の滞在が有効になるのは言うまでもありません。もちろん期間は短くても、課外活動から得られる経験も、たいへん貴重なものとなるでしょう。年を取るとチャレンジ精神がどうしても欠けてきます。やはり学生時代は、様々なチャレンジのできる時期だと思います。「留学」は、あらゆる意味でそれを可能にします。

どうか、一步を踏み出して下さい。異文化の真っ直中に飛び込んで、自分を見つけて下さい。そのことは、自分の育ってきた「日本」の文化を知ることにもつながります。きっと帰国後に自分の成長を実感することになると思います。

私たち教職員は、全力で応援しています。このハンドブックには、あなたが一步を踏み出すための知恵や方法、経験が詰まっています。

Go abroad and study !

国際学部長 三谷 真澄



Contents

交換留学	03
私費留学	06
提携留学	14
短期留学	28
BIE Program 留学	30
単位認定	32
Useful tips	38
FAQ	50
留学関連規程	52
龍谷大学リスク対応マニュアル	56
語学検定試験	59

交換留学

私費留学

提携留学

短期留学

BIE Program 留学

単位認定

Useful tips

FAQ

留学関連規程

リスク対応マニュアル

語学検定試験

龍谷大学の 留学制度



交換留学

交換留学とは、大学の学生交換協定校へ龍谷大学の代表として派遣されるもので、学費の免除はもちろん、協定校によっては奨学金を受けることも可能な制度です。原則として毎年同数の学生を派遣・受け入れしています。

※協定校や選考スケジュール等の詳細は、「留学ガイド」(グローバル教育推進センター)を参照



私費留学 **【国際文化学科生のみ】**

私費留学は自分で留学先を決定し、希望する大学(原則として、学士号を取得できる4年制大学または付属の語学学校に限る)に自分で願書を提出、入学許可を受け、所属学部の承認、並びに龍谷大学長の許可を受けて留学する方法です。



提携留学 **【グローバルスタディーズ学科生のみ】**

グローバルスタディーズ学科は、1セメスター以上の英語圏への留学を必修にしています。グローバルスタディーズ学科の提携留学は、現地の一般学生と机を並べ、同じ正規の授業を履修する「正規専門科目留学」を目指します。滞在先もホームステイやキャンパス内の学生寮を予定していますので、大学生同士の交流も自然におこなわれます。



短期留学

「留学はしてみたいけど…今一歩踏みだせない…」という人には、夏期休暇や春期休暇を利用して行く短期留学がお勧めです。短期留学には、「龍谷大学の短期留学プログラムを利用する方法」と「個人で短期留学する方法」があります。



BIE Program 留学 **【国際文化学科生のみ】**

BIE Programは龍谷大学のRUBeC(Ryukoku University Berkeley Center)を利用した本学独自の留学プログラムです。通常の語学研修プログラムとは異なり、英語学習、ボランティア活動、講義を組み合わせた留学です。5週間のプログラムと半年間のプログラムの2種類があります。

※プログラムや選考スケジュール等の詳細は、「留学ガイド」(グローバル教育推進センター)を参照

交換留学



交換留学とは、本学の学生交換協定校へ龍谷大学の代表として派遣されるもので、学費の免除はもちろん、[※]協定校によっては奨学金を受けることも可能な制度です。原則として毎年同数の学生を派遣・受け入れしています。

※グローバルスタディーズ学科生は通常学費が必要。

留学期間は原則1年間です。その間の龍谷大学の学費については、以下のとおりです。

- 国際文化学科生……学費免除(ただし、留学生在籍料が必要)
- グローバルスタディーズ学科生……通常学費が必要(ただし、初回の留学に限り奨学金として一律50万円を支給)

なお、留学先大学の都合により、年度途中であっても、条件が変更になる場合や、募集をおこなわない場合がありますので、最新の情報はグローバル教育推進センターホームページで確認してください。

■ 留学資格

本学に在籍する学部学生または大学院生。派遣時点で本学に少なくとも1ヶ年以上在学し、かつ卒業に必要な単位のうち、学部学生については原則として留学前年度に20単位以上、大学院生については8単位以上を取得した者、または現在受講中で取得見込の者。ただし大学院生については、本学卒業生であれば1年次で留学することができます。

〈留学生在籍料〉学部学生：半期15万円 大学院生：半期2.5万円

■ 交換留学のメリット

1. 留学中の学費免除(ただし、留学生在籍料が必要) ※国際文化学科生のみ対象。グローバルスタディーズ学科生は通常学費が必要。
2. 単位互換が可能
3. 1年間に最大4回の応募が可能

■ 申込方法

応募締切日までに以下の書類を提出してください。

■ 提出物

1. 留学願書
 2. 成績証明書 ※応募時点で成績が出ていない1年次生は「受講登録確認書のコピー」
 3. TOEFL®またはIELTS™のスコア証明書のコピー ※必要な大学のみ
- 第1次審査合格者はさらに下記の書類を提出します(期日は別途に通知します)。

■ 追加提出物

1. 指導教員の推薦状(厳封したもの)
2. 健康診断証明書

■ 提出先

グローバル教育推進センター(和顔館1階)



グローバルスタディーズ学科が必修留学と認める交換留学先

卒業要件であると認める交換留学先は、毎年度更新されます。R-Globe発行の「留学ガイド」及び龍谷大学ポータルサイト等で確認してください。

選考について

第一次審査: 語学審査

交換留学希望者は、必ず語学試験を受験する必要があります。語学試験のスコアをもとに、第1次審査を実施し、第2次審査(面接)に進める学生を決定します。

※選考方法は変更になる可能性があります。各自ホームページ等で最新の情報を入手すること。

●中国語・韓国語・ドイツ語・ロシア語・フランス語・スペイン語試験

本学独自の試験(無料)を実施します。申込受付はグローバル教育推進センターにて行います。詳細はグローバル教育推進センター発信のポータルサイトやホームページ等で確認してください。

●英語試験(TOEFL® ITP)

龍谷大学生協で申し込むことが可能です。なお、試験のスコアは願書提出締切から1年以内有効ですので、保持している中で最も高いスコアを提出してください。大学によっては、TOEFL® iBT、IELTS™を必須としている大学もありますが、学内選考はTOEFL® ITPで受けることが可能です。

●英語試験(IELTS™)

International English Language Testing System(IELTS)は英語熟練度を測る英語検定の1つです。日本英語検定協会もしくはJSAFを通じて申込を行ってください。なお、試験のスコアは願書提出締切から1年以内有効ですので、保持している中で最も高いスコアを提出してください。

第二次審査: 面接審査

第1次審査(語学審査)を通過した学生を対象に、集団面接を実施します。

●国別言語試験

下記以外	英語試験(TOEFL® ITP/IELTS™)※
中国	中国語試験(本学独自試験)
台湾	中国語試験 または TOEFL® ITP/IELTS™※
大韓民国	韓国語試験(本学独自試験)
ドイツ	ドイツ語試験(本学独自試験)
フランス	フランス語試験(本学独自試験)
スペイン	スペイン語試験(本学独自試験)
メキシコ	スペイン語試験(本学独自試験)
ロシア	ロシア語試験(本学独自試験)
ウクライナ	ロシア語試験(本学独自試験)

※台湾(台湾師範大学・東海大学・逢甲大学)については、TOEFL® ITP/IELTS™、中国語どちらでも出願可能です。

試験対策

まずは各種試験を受けるなどして、現在の自分の語学力を確認しましょう。留学すれば、自然と語学力が高まるというものではありません。留学先で生活するには必要最低限の語学力が必要です。

また、留学前にどの程度、語学力をアップできるかによって、現地での学習効果に差がつかます。

●英語圏の場合はTOEFL®問題集、その他の言語の場合は、過去問題を解く

本学独自の試験については希望する学生にグローバル教育推進センターで過去問題を配布しています。過去の傾向を調べ、苦手な分野を集中して勉強してみるのもよいでしょう。目標値を定め、自分の学習計画を立てましょう。

●ランゲージスタディエリアを利用する

和顔館1Fグローバル教育推進センター隣にあります。平日10:00~18:00開室しており、個人のレベル・ニーズに応じた様々な語学学習が可能。TOEFL®、TOEIC®、IELTS™等の各種資格試験対策、語学学習が集中してできるスペースです。授業の空き時間等、積極的に利用してください。

●龍谷大学に留学中の交換留学生と友達になる

交換留学生として龍谷大学に留学中の学生と積極的に交流し、語学はもちろんその国の文化についても教わってみてください。

●龍谷エクステンションセンター(REC)が主催する語学講座を受講する

大学の講義とは別に語学講座を受講して自主的に学習するのもおすすめです。詳しくは下記にお問い合わせ下さい。

●REC京都…TEL.075-645-7892 ●REC滋賀…TEL.077-543-7848

HP 龍谷エクステンションセンター(REC) <http://rec.seta.ryukoku.ac.jp/index.php>

●語学学校に通う

アフタースクールで語学学校に通うのも1つの方法です。語学力の向上を目指すクラスメイトと情報交換することも刺激になるでしょう。

●帰国レポートを読む

グローバル教育推進センターのカウンターにあります。これまでに留学を経験した学生の全レポートがそろっています。

●留学体験記を読む

下記ホームページには交換留学生から送られてくるマンスリーレポートが掲載されています。最新情報は、ここから収集してください。また、国際学部ホームページでも、学部生の留学体験記を閲覧することができます。

HP マンスリーレポート <http://www.mrepo.jp/>

HP 留学体験記 <http://www.ryukokuworld.net/>

留学までの流れ

STEP 1

交換留学先を調べる
留学ガイド、マンスリーレポート、
帰国報告書等を活用

STEP 2

揭示版、ホームページ、
ポータルサイトで募集内容を確認
交換留学募集要項

STEP 3

説明会、報告会に参加(4月・9月に開催)

STEP 4

必要な語学試験の受験

STEP 5

願書等必要書類の提出

STEP 6

第1次審査(語学試験スコアを元に判定)
+ 第2次審査(集団面接)

STEP 7

合格発表
オリエンテーション実施
単位・卒業に関する相談

STEP 8

交換留学先への出願〜ビザ申請、
渡航手続き

STEP 9

出発前オリエンテーション
(危機管理・保険加入等)

STEP 10

留学先での学修
マンスリーレポート/
SNSを活用した異文化交流実践の受講
(2019年度以降入学生からグローバル
スタディーズ学科生のみ対象)

STEP 11

帰国、帰国報告書/レポート提出
単位認定手続き

私費留学



私費留学は自分で留学先を決定し、希望する大学(原則として、学士号を取得できる4年制大学または付属の語学学校に限る)に自分で願書を提出、入学許可を受け、所属学部の承認、並びに龍谷大学長の許可を受けて留学する方法です。

■私費留学のメリット

1. 留学中の学費免除(ただし、留学在籍料および現地学費が必要)
2. 単位互換が可能
3. 卒業に必要な在学期間として算入
4. 留学先を自分で選択できる

■留学を実現するために必要なもの

現在、龍谷大学では1年間に100人近くの学生が私費留学をしています。留学をしたいと思っても、何から調べるべきなのか、いつから留学すべきかと考えているうちに4年間の大学生活はあっという間に終わってしまいます。

留学を実現するためには、まず情報収集から。和顔館1F留学サポートデスクにある留学帰国レポートや月報、国際学部webサイトに掲載されている帰国レポート(<http://www.ryukokuworld.net/>)、インターネットなどを参考に留学に関する色々な情報を集めましょう!

帰国レポートQRコード▶



条件

私費留学は、学校・受講する語学コースの内容・留学時期・留学期間・滞在方法等を、全て自分で決める留学です。ただし、以下の条件があります。全ての条件を満たさなければ、私費留学として許可されません。

留学先	4年制大学、または4年制大学付属の語学学校 ※2年制のCollege、独立した専門学校、English schoolなどは不可	
受講コース	週に15時間以上開講されているもの 例)週に2日だけ開講されるpart-timeのコースは不可	
留学時期 ※1年間留学の場合はそれぞれ該当する学期の出発日・帰国日を参照すること	前期 出発日：前年度の春期休業1日目以降 帰国日：後期開始日の前日以前	後期 出発日：夏期休業1日目以降 帰国日：3月31日(年度末)以前
留学期間	①上記の留学期間内で*15週間以上、同じ学校で受講すること ×半年の期間内で学校を変えることは不可 ○同じ学校で違うコースを組み合わせでの受講は可 例)General English course を8weeks受講後、Academic course を12weeks受講する ②1年間の留学でも、それぞれの学期に該当する期間で15週間ずつ授業を受けること 例)3月～9月に休みなく30週受講して、残りを全て休みにする等は不可	

※1学期間内で15週間以上コースの受講ができないやむを得ない理由がある場合は、留学サポートデスク(和顔館1F)まで相談してください。指導教員(下記参照)からの別途課題を提出することで、審議の上、留学許可された例があります。課題は、帰国後に所定の書類と併せて提出した上で評価されます。成果がないと判断されれば、単位認定はされません。

指導教員……1・2年次→「基礎演習A」担当教員

3・4年次→「演習」担当教員

私費派遣留学生奨励奨学金制度

本学では、留学前に目的意識を明確に定め、留学先において学業を中心とした諸活動へ積極的に取り組むための支援をおこなう目的で、私費派遣留学生奨励奨学金制度を設けています。

[〈私費派遣留学生奨励奨学金\(給付奨学金\)募集のお知らせ〉](#)

http://intl.ryukoku.ac.jp/r_shihi/s_fund.html

選考は、書類と面接及びGPA審査をもっておこなわれます。申請希望者は、私費留学申請と同時に所定の書類を提出してください。なお、選考面接は、私費留学の可否が決定される私費留学申請者全員参加必須の面接とは別途行います。

- 半年/一年の期間を問わず、一律15万円を支給
- 返還不要

加入必須の海外旅行傷害保険

龍谷大学の制度を利用して留学する学生は、必ず龍谷大学指定の保険に加入しなければなりません。

(補償事項と補償金額は、P.41を参照)

留学に関連する龍谷大学開講科目

龍谷大学では、留学に関わる下記の科目を開講しています。

留学準備をよりよいものにするために、積極的に受講しましょう。

留学前『異文化間コミュニケーション論』(任意)

留学中『SNSを活用した異文化交流実践』(登録必修)(2019年度以降入学生からは登録不要)

留学前の準備

私費留学を決断してから実際に渡航するまでに必要な流れは、大きく2種類に分けることができます。

①龍谷大学から私費留学許可を受けるためのプロセス

②現地の学校に通うためのプロセス

それぞれに不備があったり、期限に遅れたりすると、留学できません。すべてを正しく把握し、早めに準備を進めましょう。

①龍谷大学から私費留学許可を受けるためのプロセス

1. P.6～7の私費留学を熟読し、私費留学制度について理解

2. 自分の留学する国を決定

3. 私費留学制度の条件を満たす語学学校・受講するコースを探し、決定

4. 下記の書類をすべて揃えて、留学サポートデスク(和顔館1F)に提出

- 留学願書 (国際学部HPよりダウンロード)
- 誓約書 (国際学部HPよりダウンロード)
- 奨学金申請書 (国際学部HPよりダウンロード)※奨学金申請希望者のみ
- 成績証明書 (国際学部教務課内にある証明書発行機で発行)
- 健康診断書 (国際学部教務課内にある証明書発行機で発行)
- 留学先学校の資料 (学校公式HPを印刷したもの・パンフレット等、私費留学制度の条件を満たすことが分かる内容が記載されたもの)
- 指導教員による推薦書(国際学部HPよりダウンロード)

提出締切日/前期出発の場合…前年度の11月中旬

後期出発の場合…当該年度の5月中旬

※詳細な日付は留学week(4月・9月)の私費留学説明会、龍谷大学ポータルサイト等で確認すること。

5. 面接の受験→留学の承認(面接は、前期出発:11月下旬、後期出発者:5月下旬を予定)

※すべての学生を対象に、面接が実施されます。書類と面接によって審査され、教授会で承認の後、留学可否が決定されます。

※日本学生支援機構奨学金(第一種・第二種)受給者は、留学が承認された時点で、学生部で所定の手続きを行ってください。

この手続きを怠ると、今後の受給に影響がありますので、十分注意してください。

6. 下記の書類を全て揃えて、留学サポートデスク(和顔館1F)に提出

- 留学先学校からの受入許可証 (学校へ受講申請・授業料等入金後に、学校から発行されるもの)

提出締切日/前期出発の場合…前年度の12月末～1月初旬

後期出発の場合…当該年度の6月末 ※詳細な日付は、龍谷大学ポータルサイトやオリエンテーションで確認すること。

7. 龍谷大学指定の海外旅行傷害保険に加入

8. 海外旅行保険加入振込伝票控え(A票)を留学サポートデスク(和顔館1F)に提出

9. 渡航方法・滞在先をポータルにて登録

10. 【該当者のみ】演習担当教員へ遠隔地指導の依頼・受講登録(履修登録期間)

11. 「SNSを活用した異文化交流実践」の受講登録(履修登録期間)(2019年度以降入学生からは登録不要)



②現地の学校に通うためのプロセス

1. 留学先で自分が受講するコースへの申込

多くの学校は、各学校のホームページ上から申込が可能です。下記の申し込み方法が主流です。

- 受講コースを選択→必要事項を記入→カード決済をするタイプ
- Application formをダウンロードして記入後、必要書類と一緒にメール送信するタイプ

2. 入学金・授業料等の支払い

申込と同時にカード情報を知らせ、クレジットカード決済するタイプが主流です。

3. 滞在先・方法の決定

学校が寮やホームステイなどのプレイズメントも行っていて、授業申し込みと同時に申請するケースが多いです。別会社に頼む場合も学校への申し込みと同様、インターネットで手続きができます。

4. 留学先学校から受入許可証発行

通知した自分の情報・申し込んだコースの内容が間違えて登録されていることが、よくあります。事前に必ず確認するようにしましょう。

5. 学生ビザを申請(必要な場合)

学生ビザが必要かどうかは、留学する期間や行き先国・地域によって変わります。申請料金も千差万別です。ほとんどは、移民局のホームページ上から、インターネット申請することが可能です。まずは、「国名+student visa」で検索してみてください。ビザ申請に必要なもの等の情報も、詳しく載っています。申請に必要な書類は、留学する期間や行き先国等によって変わりますが、おおよそ次のようなものです。

- 留学先学校の受入れ許可証
- 英文の成績証明書（龍谷大学で発行 ※発行に1週間必要）
- 英文の残高証明書（各銀行で発行）
- 犯罪経歴証明書（各都道府県警で発行）
- 健康診断書（各国大使館指定病院で発行されたもの。発行費必要。）

6. 航空券を予約する

片道航空券、往復航空券、日付を指定する/しないタイプ、様々な航空券の種類があります。それぞれのメリット・デメリットを理解した上、最適なものを自分で判断しましょう。

Ex. 片道航空券 → 入国時、帰国する航空券を所持していないと、入国拒否される可能性有
 特定日付を指定する航空券 → 変更可能なものより安いことが多いが、キャンセル不可

7. 現地での生活を想像して、必要なものを事前に調べておく

【交通手段】

現地の電車路線図、1ヶ月の定期代、学割はあるかなどを事前に確認すること。

【通信手段】

大学内や、家庭内などではWiFiがあり、日本で使っているスマートフォンが使用できる場合がほとんどです。1年以内の短い滞在なら、WiFiのない場所で最低限使用するために、プリペイド携帯を持っておくことも、おすすめです。

【金銭面】

現地で銀行口座は開設するか、開設費や年会費の無料/安い銀行はどこかなどを事前に確認しておくこと。

現地の学校に通うためのプロセスを進めるタイミングは、各学校・仲介業者(利用する場合)によって様々です。龍谷大学の私費留学許可が出るタイミングで動き出すと遅い場合は、許可されることを見越して早めに準備を進めましょう。



留学中にすること

留学許可=単位認定ではありません。龍谷大学の制度を利用して留学する学生は、留学先でも、しかるべき時に、しかるべき課題をこなしたり、しかるべき情報を共有したりする義務があります。

「到着後すぐすること」「その都度すること」「定期的にするここと」、この3つをそれぞれ把握しておきましょう。

●到着後すぐすること

- ①無事に現地に到着したことを、国際学部留学サポートデスクに報告
件名に【学籍番号・氏名・到着の連絡】と記入し、下記まで送信してください。
留学サポートデスク代表アドレス: studyabroad@ebisu.fks.ryukoku.ac.jp
- ②在留届を提出
海外に3ヶ月以上滞る人は、現地の日本大使館・領事館に在留届を提出することが義務づけられています。インターネットの電子届出システムで簡単に手続きできます。(P.39参照)

●その都度すること

- ①引っ越した場合
 - ポータル、[アンケート]情報入力フォームから、住所の更新
 - 在留届インターネット電子届出システムより変更届を提出し、住所変更を申告
- ②携帯電話を購入/レンタルした場合
 - ポータル、[アンケート]情報入力フォームから、電話番号の入力/更新
- ③留学先学校から、シラバスや成績表、修了証を入手した時
 - 失くさないよう保管(帰国後提出必須、単位認定に必要です)
- ④帰国日が確定した時
 - ポータルの[アンケート]情報入力フォームから、帰国日の更新
- ⑤帰国後提出書類の準備
帰国後に、入手できなかった成績表等発行の問合せをするのは、手間と時間がかかります。必ず現地にいる内に不備なく揃えましょう。

●定期的にするここと

- ①ポータルサイトとメールのチェック(週に1度以上)
ポータルサイトのお知らせ欄や、登録のメールアドレス、龍谷大学のGmailアドレス(学籍番号@mail.ryukoku.ac.jp)に、大切な連絡を入れます。必ず確認し、適宜返信してください。
- ②月報の投稿
月に1度、ポータルの[アンケート]「留学月報記入フォーム」から、月報投稿をしてください。投稿された月報は留学サポートデスクでファイリングされ、在学中の学生に公開されます。留学先でのリアルタイムの情報を日本に共有してください。
- ③「SNSを活用した異文化交流実践」の課題の投稿(2019年度以降入学生は不要)

<各種問合せ先>

国際学部留学サポートデスク(留学全般): studyabroad@ebisu.fks.ryukoku.ac.jp

国際学部教務課代表アドレス(履修・成績等): world@ad.ryukoku.ac.jp

学生部代表アドレス(奨学金等): gakusei@ad.ryukoku.ac.jp

キャリアセンター代表アドレス(就職活動): career@ryukoku.ac.jp

※緊急でない質問は、まずは過去に通知がないか、「留学ハンドブック」(本紙)や各事前説明会資料を確認して調べること

※メール送信時は、件名に【学籍番号・氏名・用件】を記入し、内容を簡潔に書くこと

<緊急連絡先>

事件や事故、災害に巻き込まれた際は、ただちに家族や保険会社に連絡するとともに、龍谷大学国際学部教務課にもご一報ください。

国際学部教務課 : 075-645-5645(国内から) +81 756455645(国外から)

留学後にすること

①在留届インターネット電子届出システムより、帰国届を提出

②帰国後2週間以内に、下記の書類を国際学部留学サポートデスク(和顔館1F)に提出

- 留学帰国報告書・レポート(国際学部HPよりダウンロード) ※紙とデータ両方提出要
紙 : パソコンで作成・プリントアウトし、捺印したもの
データ: USBに入れて持参、またはメールに添付して送信
- 修了証(コピー)
- 成績表(コピー)
- 講義時間数・授業内容などが分かるもの ※シラバス等コースの詳細内容、時間割、開講時期・期間などがわかる書類。受講した全てのコース分必要。不足の場合、単位認定できません。

以下のどちらかの方法で提出すること

- 1) 国際学部留学サポートデスク(和顔館1F)に持参
- 2) 下記住所まで郵送 ※メール等で事前に留学サポートデスクに許可を取ること。

〒612-8577京都市伏見区深草塚本町67

龍谷大学和顔館 グローバル教育推進センター内 国際学部留学サポート担当者 宛

※郵送する場合、すぐに連絡が取れるメールアドレスを記載した紙を同封し、封筒に《留学帰国レポート在中》と明記すること

※留学先学校から上記の必要書類が発行されない場合や、遅れて発行される場合は、その事情を説明する学校の公式文書(サインや印鑑などがある正式なもの)を併せて提出すること。教授会で正当な理由と認められた場合のみ、単位認定審査を行います。

《留学中に取得した単位が成績表に反映される時期》

不備なく全ての必要書類を提出した時期により異なります。

原則、前期帰国…6月末以前 後期帰国…12月半ば以前提出のとき、

それぞれ次学期開始時に配布される成績表およびWeb履修登録画面に、留学中に認定された単位も表示されます。(審査に時間を要するものでない場合のみ)

留学→帰国→成績表配布(留学先での単位認定分が成績表に反映)

それ以降提出の場合は、その次の学期開始時に、龍谷大学で受けた授業の結果と合わせて成績表に反映されます。

留学→帰国→成績表配布(留学前までの成績と「SNSを活用した異文化交流実践」(2018年度以前入学生)国際文化実践プログラムIIA演習(履習者のみ)の成績のみ反映)→龍大で授業受講→成績表配布(留学先での単位認定分も成績表に反映)

③帰国レポートのオンライン投稿

URL(<http://www.ryukokuworld.net/wp-login.php>)から、帰国報告書類提出時に案内したID・パスワードを使って自分専用ページへログインし、帰国レポートを作成しましょう。作成したレポートは龍谷大学国際学部留学レポートのページ(<http://www.ryukokuworld.net/>)に掲載されます。

単位認定を希望しない学生も、次の課題は必須です。

- 留学帰国報告書・レポートの提出
- 帰国レポートのオンライン投稿

龍谷大学の制度を利用して留学した学生の義務です。

※帰国後初めて龍谷大学に来る際は、必ず学生証持参の上、国際学部教務課(紫英館)に来課し、新年度の時間割表・在籍確認シールを受け取ってください。



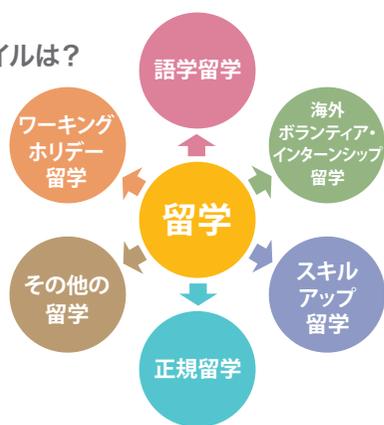
① 留学出発まで



② 留学する目的を決める

- ① 留学する目的を決める 出発1年前から
情報収集開始
- ② 留学先の国や都市を探す
- ③ 留学先の学校を決める 出発6カ月前
- ④ 龍谷大学へ留学制度の申請 各制度の受付
期間要注意!
- ⑤ 留学先学校へ出願 遅くとも
出発4カ月前
- ⑥ 出発日を決める 出発3カ月前
- ⑦ 滞在先を決める
- ⑧ 留学先学校へ学費の支払い
- ⑨ 留学先学校から入学許可書到着 出発2カ月前
- ⑩ 学生ビザ取得の手続き
(※国によって異なる) 出発2カ月前
- ⑪ 海外傷害保険に加入(※義務)
- ⑫ 航空券の手配
- ⑬ 公的な手続き
- ⑭ クレジットカードや
国際キャッシュカードの申し込み
- ⑮ 滞在先の詳細が到着 出発1～3週間前
- ⑯ 持ち物の確認
- ⑰ 留学先へ出発

あなたの
留学スタイルは？



語学留学(語学を習得したい)

語学習得を第一目的として、海外の大学、または語学学校へ通うスタイルが語学留学です。
【語学学校】語学力を伸ばすための学校。留学生であれば誰でも入学が可能です。英語圏をはじめ近年では、ヨーロッパ圏やアジア圏などの語学留学の人気も高まっており、世界各国には留学生のための語学学校が多数あります。1週間程度の短期から受け入れてくれるところも多くなっています。
【海外の大学】大学に付属する語学学校によっては、留学生のための準備コースを用意しているところもあり、大学準備コースをパスできれば、大学の講義を受講できるチャンスもあります。ただし、誰でも参加できるものではないため、高い語学力が必要です。学士号授与権を持つ4年制大学であれば、国際学部の私費長期留学制度も利用でき、ボランティア研修などがある場合もあります。龍谷大学のBIEプログラムでも海外ボランティアの体験が可能です。

海外ボランティアやインターンシップ留学

海外の企業や団体へ派遣され実務経験をつめるインターンシップや、福祉施設やNPOでボランティア団体へ派遣されるボランティアインターンシップなどがあります。なかには、日本語を教える日本語教師のアシスタントとして研修できるプログラムや旅行会社や留学斡旋業者が企画する短期間の海外ボランティア研修などがあります。龍谷大学のBIEプログラムでも海外ボランティアの体験が可能です。

スキルアップ留学(海外で専門的な分野を学びスキルを上げたい)

語学だけでなく、海外で専門的な分野を学び、資格を習得するなど、仕事で必要とする実践的なスキルや知識習得を目的とした留学です。留学生だけが通う語学学校と違い現地の学生も学んでいます。国によっては、専門学校が教育機関にあり、留学生にも幅広く門戸が開かれています。各大学や短期大学に専門を学ぶカリキュラムが用意されており、留学生が単科で学ぶことが可能な学校もあります。

正規留学(大学や大学院に進学したい)

専攻したい科目や専門的な授業内容などを求めて海外の学校に進学するスタイル。入学し学位取得を目的とします。2年制、4年制大学や専門的な学部にて特化した学校などがあります。誰でも気軽に参加できるものではなく、入学希望者は、各国の教育機関の入学基準に満たす必要があり、書類の手続きも複雑になります。同じ目標を持った学生たちと国際的なキャンパスの中で勉強することができます。

ワーキングホリデー留学

ワーキングホリデー制度とは、二つの国の政府間の協定に基づき実施されているもので、最長1年間滞り、異なった文化の中で休暇を楽しみながら、学校に通い、滞在費や旅行資金を補うために現地で付随的に就労を認めるという特別な国の制度です。ワーキングホリデーで海外に渡航するためには、ビザを申請する必要があります。国によってはこの制度が利用できないこともあり、各国大使館のサイトやワーキングホリデー専用サイトにて事前に情報収集が必要です。

その他の留学

【体験型留学】海外でおいこやファームステイ、スポーツや遊びなどのアクティビティ中心の体験を通じて異文化体験を目的とした留学スタイルです。学校に通わず、料理レッスンや、音楽レッスン、ダンスレッスン、サーフィンレッスンなどを受けるプログラムもあり、最短で1週間からの参加可能なプログラムが多数あります。この留学スタイルは、龍谷大学の留学制度では利用できません。

③ 行く国を決める

英語圏

アメリカ アイルランド
カナダ オーストラリア
イギリス ニュージーランド
etc.

韓国語圏

韓国
etc.

中国語圏

中国
台湾
etc.

フランス語圏

フランス
カナダ ケベック州
etc.

行きたい留学を一度イメージしてみよう！

イメージすることで選択肢を絞り留学先を決める。どの言語を学びたいか？どの国に行きたいか？行き先を決めるのは難しく悩むかもしれませんが、『アメリカに行ってみよう』『イギリスのアートや芸術に興味がある』など楽しく考えてみましょう。例えば、英語圏であれば、英語を学ぶだけなら大きな違いは有りませんが、『大自然に触れたい』など、自分が好きなことから滞在先を絞っていきましょう！興味のある国や、都市で暮らすことで学習意欲も高まり、より良い留学が実現できるでしょう。趣味や歴史、観光など多方面からこの機会に考えてみましょう。

アメリカ

日本の約25倍の国土面積を持つ。世界のリーダーを自認する国、あらゆる分野でトップの才能を集め、留学生の人気も圧倒的に高い。日本の英語教育の発音のモデルとされているのはアメリカ英語。日本人にはなじみがあり、また世界的にもスタンダード化した発音を身に付けることができる。古くから留学生の受入体制が充実していて「誰でも学びたい時に学べる」そんな自由なアメリカを尊重したような教育理念が根底に流れている。

アイルランド

独特の文化を持つ国民性が特徴で、治安が良く物価も比較的安い。ヨーロッパの中でも非常に古い歴史を持ち、優れた教育の伝統で数多くの著名人を育成していることでも有名。高い教育水準を誇る国。留学生の英語教育プログラムも盛んで、他の英語圏に比べると日本人が少なく、学校も少人数制。じっくり英語が学べる環境が整っている。どこへ行ってもパブがあり、アイルランド人の温かさに触れられる。驚くことに大学のキャンパス内にパブがある学校もある。

韓国

スポーツをはじめ映画やドラマは今や国際的に高い評価や支持を受けており、韓国への留学者数は年々増えている。世界的な国際都市になってきた韓国の首都ソウル市は、国立大学をはじめ有名私立大学が集まっており、標準語の韓国語を使う優秀な韓国人学生が在学している。以前は、韓国の一部の有名大学でのみ韓国語の教育機関（語学堂）を設立していたが、今や、100校以上の学校で語学留学や正規留学が可能となっている。物価は年々上昇傾向にあり、学費も生活費も思った以上に安くはない。

カナダ

ロシアに次ぎ世界で2番目に大きい国。雄大な自然に囲まれて、生活水準は高く治安も良い。国連の調査では、「暮らしやすい国」上位に常にランクインしている。多くの移民を受け入れている多民族国家なので、多種多様な文化に触れることができる。癖のない英語で知られ、語学留学生の人気は高い。発音はアメリカ英語に近いが、イギリス英語の影響がみられる部分もある。英語とフランス語の2つの公用語を持つので第二言語教育には定評がある。

オーストラリア

日本のおよそ20倍の国土面積を持つ。6つの州とひとつの準州にわかれている。イギリスの植民地であった歴史背景からオーストラリアの教育制度は、イギリスのものが基軸となっている。オーストラリア人は、大らかでフレンドリーな人が多く、親しみやすく友好的なのが特徴。移民の国でもあり、留学生を快く受け入れる懐の深さがある。マリンスポーツが好きで寒いの苦手な人ならオーストラリア！語学勉強だけでなくさまざまなアクティビティが楽しめる。治安もよく、気候も温暖。観光エリアも多い。

中国

中国留学の歴史は長く、ここ数十年は特に著しく長期留學生が増加している。その背景として、中国での留學生受け入れ体制の完備、中国大学教育の高質、中国経済の高速発展などが上げられる。世界のビジネスシーンにおいても中国語の需要がますます高まってきたのも理由のひとつだろう。言語は、地域によって方言がある。食も都市により大きく異なるので、自分の目的や好みに合う地方を選ぶと勉強に有益。留学費用は、全体的に他の国より安い。中国人並みの生活なら日本人からみれば安い！と感じるだろう。

④ 通う学校を決める

決め手になる4つのポイント
立地

大都市や田舎など、学校の場所に注目！便利で賑やかな場所がいいか、のんびりした田舎がいいか、どんな環境で勉強したいか考えてみましょう。

タイプ

語学学校を大まかに分けると、大学のキャンパス内、街中のビルの中にある学校や孤立した建物で開講する学校のタイプが存在します。大学のキャンパス内であれば、大学の施設を利用できることも多いです。

規模

数十人～数百人まで規模はさまざま。規模の大きい学校は、歴史が深い学校も多く、カリキュラムが充実しており、プログラムの選択史が多い傾向にあります。こじんまりとアットホームを好むなら小規模の学校です。とは言っても1クラスの人数に注目。

学費

学校によって学費が異なります。学費がどのくらい違うか計算してみましょう。

イギリス

イングランド、スコットランドなど4地域で構成されそれぞれ独立性が高い。英語発祥の地だけに、英語教育法は、世界的にも最先端。イギリスの教育の歴史は古く、文化・芸術面での教育水準も高く、学生に人気の国です。国土面積は、日本の約3分の2。アメリカ英語と並んで世界標準となっている。その上品なイメージに引かれ、格調高い英語を身につけたいと願う人も多い。かつて植民地を多く持った国だけあって、外国人や移民への英語教育は歴史と伝統に裏打ちされレベルも高い。

ニュージーランド

ニュージーランドは、北島と南島、そして周囲の島々から成る国。どの島にも低地や牧草地が広がっており、変化に富んだ自然を楽しむことができる。ニュージーランドの教育制度は、イギリスが模範。歴史の中で育まれたニュージーランド特有の多文化社会は、教育の分野でも反映されている。人々はフレンドリーでホスピタリティ精神に溢れている。のんびりとマイペースで生活することを好み、自然に恵まれていることもあって、アウトドアやアクティビティが盛ん。少人数のクラスでのんびり英語を学ぶならニュージーランド。

フランス

芸術・文学・食文化などの分野で多くの外国人がその真髄を学びに訪れ、あらゆる面において「豊かな国」であるフランス。国家予算の2割をつぎこみ、国が教育の高い質を維持している。パリやニースをはじめとする南仏は、メディアでも紹介されることが多く、イメージは掴みやすいだろう。それに比べ地方都市は、情報も少なく選択しにくいかもしれないが、治安や物価を考慮すると、長期留学は、地方都市からスタートするのがオススメ。気候や言葉のアクセント、人々の気質もかなり異なるのでじっくり吟味しよう。

提携留学



グローバルスタディーズ学科では、独自に英語圏5カ国10大学と提携し、学生はその中から留学先を希望することができます。現地での学びを通して、極めて高い英語運用能力の習得と異文化理解の深化を目指します。派遣先の大学は次の通りです。

提携留学先 (2020年3月現在)

■アメリカ

カリフォルニア大学バークレー校
University of California, Berkeley

南ミズーリ州立大学
Missouri Southern State University

南カリフォルニア大学
University of Southern California

■オーストラリア

ディーキン大学
Deakin University

タスマニア大学
University of Tasmania

■ニュージーランド

ワイカト大学
The University of Waikato

■カナダ

レイクヘッド大学 アルバータ大学
Lakehead University University of Alberta

ランガラカレッジ
Langara College

■アイルランド

ユニバーシティ・カレッジ・コーク
University College Cork

グローバルスタディーズ学科では、国内での教育と全員必修の海外留学を通じて、「議論できる」レベルの英語力を目指します。提携留学は、語学レベルによっては現地の一般学生と机を並べ、「正規専門科目」を受講することも可能です。滞在先もホームステイやキャンパス内の学生寮を予定していますので、大学生同士の交流も自然におこなわれます。

提携留学のメリット

1. 留学先の学費免除(龍谷大学の通常学費を納入)
2. 単位互換が可能
3. 高い英語運用能力の習得が可能

提携留学出発までのカリキュラムの流れ

皆さんが龍谷大学国際学部グローバルスタディーズ学科に入学をしたその時点から、留学に向けた準備は始まります。留学先決定までのカリキュラムの流れは次のとおりです。

時期	学科外国語科目			学科基礎科目			
1 セメスター	<英語Ⅰ> Reading Writing Oral Communication	Study Abroad Preparation I	Business English through TOEIC® (Basic A)	Academic English through IELTS™ (Basic A)	リサーチ 方法論 A	ITリテラシー A	グローバル スタディーズ A/B
2 セメスター	<英語Ⅱ> Reading Writing Oral Communication	Study Abroad Preparation II	Business English through TOEIC® (Basic B)	Academic English through IELTS™ (Basic B)	リサーチ 方法論 B	ITリテラシー B	グローバル スタディーズ C

※2019年度以降入学生より2年次提携留学の条件として、1年次配当英語科目のうち、前期出发者は6単位、後期出发者は12単位以上修得していることを留学の条件とします。

また、上記授業に加えて、以下のとおり提携留学の手続きを進める必要があります。各種オリエンテーションには必ず出席してください。

1. 留学先希望調査書、語学スコア(11月下旬)
2. 面接の受験→留学の承認(面接は、前期出発:12月上旬、後期出発者:1月下旬を予定)
 ※すべての学生を対象に、面接が実施されます。書類と面接によって審査され、教授会で承認の後、留学可否が決定されます。
 ※日本学生支援機構奨学金(第一種・第二種)受給者は、留学が承認された時点で、学生部で所定の手続きを行ってください。この手続きを怠ると、今後の受給に影響がありますので、十分注意してください。
 ※成績状況、面接内容、語学スコア等をもとに総合的に留学可否、留学先を決定します。希望の留学を実現させるためにも、入学後から計画的に学修、留学準備、情報収集を進めてください。
3. 下記の書類をすべて揃えて、留学サポートデスク(和顔館1F)に提出
 - 留学願書(国際学部HPよりダウンロード)
 - 誓約書(国際学部HPよりダウンロード)
 - 健康診断書(国際学部教務課内にある証明書発行機で発行)
 - 留学先科目希望調査(国際学部HPよりダウンロード)
 - 航空券手配に関する同意書(国際学部HPよりダウンロード)
 提出締切日/前期出発の場合…前年度1月上旬
 後期出発の場合…前年度の2月末 ※詳細な日付は、ポータルサイト等で確認すること。
4. 留学先大学への出願
5. 龍谷大学指定の海外旅行傷害保険に加入
6. 海外旅行保険加入振込伝票控えを留学サポートデスク(和顔館1F)に提出
7. 【該当者のみ】演習担当教員へ遠隔地指導の依頼・受講登録(履修登録期間)
8. 「SNSを活用した異文化交流実践」の受講登録(履修登録期間)

詳細なスケジュール・手続き内容は、別途龍谷大学ポータルサイトでお伝えします。各自で随時確認してください。



提携留学先決定・留学準備について

留学での学びをより充実したものとするため、Study Abroad Preparation I・IIを受講します。英語圏への留学準備について英語で学ぶことができ、また、留学先の大学についても考えていきます。

Study Abroad Preparation I		
	Lecture Title	Contents
1	Orientations and Getting Started	Orientation and Introductions
2	Orientations and Getting Started	Goals and Expectations
3	Logistics	Choosing a Study Abroad Program
4	Logistics	What to bring?
5	Culture	What is culture?
6	Culture	Show and Tell
7	Adjustment	Culture Shock
8	Adjustment	Travel and Sightseeing
9	Logistics II	Communications - Cell Phones
10	Logistics II	Money Management
11	Culture II	World Culture and Research
12	Culture II	Country Presentations
13	Adjustment II	How to make friends and influence people!
14	Adjustment II	Circles and Clubs
15	Test	Review/Test
16	Interactions	Japanese Culture
17	Interactions	Cultural Presentations
18	Health and Safety	Going to the Doctor
19	Health and Safety	Emergencies
20	Taking Classes	Asking for Help
21	Taking Classes	Effective Note Taking
22	Getting involved	Volunteering
23	Getting involved	Giving Back
24	Logistics III	Yelp - Restaurants and trying something new
25	Logistics III	Shopping and Saving
26	Pop Culture	Media and Pop Culture
27	Pop Culture	Music - Top 100
28	Test	Review/Test
29	Reflection	Journal and Memories
30	Reflection	Keeping in Touch

留学先が決定した後は、留学の準備をします。留学先の国の文化や異文化理解について学ぶとともに、現地での危機管理やメンタルヘルスなど、留学期間中の生活上のさまざまな事柄に関するアドバイスもおこないます。また、授業以外にもオリエンテーションをおして、留学への準備を進めます。

【出発前オリエンテーション内容】

1. 出発前に必要となる手続や留学準備について
2. 留学中の履修登録や注意事項について
3. 海外旅行保険加入・危機管理について
4. 帰国後の手続(単位認定等)について



Study Abroad Preparation II		
	Lecture Title	Contents
1	Orientation and Getting Started	Summer Vacation
2	Orientation and Getting Started	Sharing Stories - Presentations
3	Getting Around	Transportation - Fares
4	Getting Around	Map Reading - Directions
5	Safety	Staying Healthy
6	Safety	Staying Safe
7	Foreign Culture	Campus and Cities
8	Foreign Culture	Presentations
9	Taking Classes	English Resources
10	Taking Classes	Paraphrasing and Plagiarism
11	English	English Tests
12	English	Test Study Guide Presentations
13	Expressing/Describing Information	Current Events
14	Expressing/Describing Information	News Presentation
15	Test	Review/Test
16	Taking Classes II	Note Taking II
17	Taking Classes II	Group Study - Note Sharing
18	Pop Culture	Movies and Cinema
19	Pop Culture	Reviews/Descriptions
20	Efficient Reading	Accessing Information
21	Efficient Reading	Technology and Advancements
22	Technology	Viral Videos
23	Technology	News Websites, Twitter, Effective Questions
24	Adjustment	Stages of Adjustment
25	Adjustment	Racism and Counseling
26	Test Taking	Time Management - Test Taking
27	Test Taking	E mail
28	Test	Review/Test
29	Troubleshooting	Anticipate Problems
30	Troubleshooting	Offer a Guide to Future Students

留学先は、主としてTOEIC[®]、TOEFL[®]、IELTS[™]の各種語学スコア値と学内成績、および留学先希望調査(11月実施)から総合的に判断し、前期出発は12月中旬に、後期出発は2月に最終決定されます。スーパーバイザーとも相談できますので、知りたいことや不安に思うことがあれば、遠慮無く相談してください(自分のスーパーバイザーや相談方法については、グローバルスタディーズ学科履修要項を参照)。

その他、提携留学に関するスケジュール等の詳細については、龍谷大学ポータルサイトを通して周知します。各自情報収集を怠らないようにしてください。

なお、留学先別担当者は以下のとおりです。行きたい国の大学についてわからないことがあれば、オフィスアワーなどを利用して担当の先生と相談してください。

- UC Berkeley, U of Southern California, MSSU → ブラドリー ● Deakin, Tasmania → 瀧本
- Lakehead → 清水 ● Alberta, Waikato → チャプル
- Langara → 長尾 ● UCC → 瀧口 (交換留学 → 福山)



アメリカ

カリフォルニア大学バークレー校

University of California, Berkeley



■ 現地の環境

サンフランシスコのダウンタウンから公共交通BART (Bay Area Rapid Transit)などで約30分。世界的にも有名なワインの産地、ナパバレーまでは、車で1時間弱の距離にあります。一年中、温暖な気候に恵まれており、リラックスした気分の中で勉強することができます。



所在地	カリフォルニア州バークレー 2200 University Drive, Berkeley, CA 94720 U.S.A.
設立年	1868年
運営	州立
受講プログラム	Summer Session A+D
語学要件	IELTSTM 6.5 / ibT TOEFL® 80 / PBT TOEFL® 600 / ITP TOEFL® 600 / TOEIC® 685 / TOEIC® IP 685
滞在方法	学生寮
滞在費(日本円換算)	約1,200,000円(\$1=¥120)
ビザ	F-1
参考URL	http://www.berkeley.edu/ http://www.berkeley.edu/about/visit http://summer.berkeley.edu/

現地スタッフからのメッセージ

Dear Students,

I am writing to you today to extend a warm welcome to Global Studies who are considering taking a Summer Session at the University of California, Berkeley. Your involvement and participation in our Summer Session presents a great opportunity for you and for us here at Berkeley. As you consider your choices, here are a few things to consider.

First, Berkeley prides itself on its inclusion and diversity. Here at Berkeley you might meet folks from every part of the world and from every walk of life! We welcome you and your unique history, personality and perspective, and hope that you too can become part of our international community of teaching and learning.

Second, Berkeley prides itself on its teaching, scholarship, and outreach. This means that courses will be challenging and that students must work hard and be focused, but it also means that you will be in an intellectual environment that crackles with ideas, projects, social movements and energy. You'll feel this in our classrooms, libraries, labs, and in the many cafes that surround the University! Again, we hope that you will come and become part of these ongoing conversations and movements.

Third, here at Berkeley we are very lucky in that we are a part of the greater San Francisco Bay Area that is home to some of the most beautiful scenery in the world (you must see the redwoods and the views from our local hills!). In addition we are a short train ride away from San Francisco, one of the gems of California and the entire United States! (OK, I am a little biased!). San Francisco offers all the benefits of a large city in terms of theatre, music and arts all in a very small and accessible area.

So in closing let me again extend you a warm invitation to come to Berkeley and become part of our intellectual community. I am sure it will be an experience that will stay with you for the rest of your life. It has for me!

Richard D. McCallum, Ph.D. Graduate School of Education University of California, Berkeley





アメリカ

南ミズーリ州立大学

Missouri Southern State University



■ 現地の環境

アメリカ合衆国の中西部に位置し、州東にはアメリカ最大の川であるミシシッピ川が流れるミズーリ州。ジョブリンはそのミズーリ州の南西端に位置し、かつて鉛、亜鉛、上質な石灰岩を産出したことでも知られる街です。ミズーリ州は、大部分が穀倉地帯であり、日本でも馴染みの深い小説「トム・ソーヤの冒険」の舞台にもなっており、川や湖、緑の山々など美しい自然に恵まれた州です。季候も良く、夏は平均気温が25～27度で湿度がやや高く、冬は厳しく冷え込むことはほとんどありません。

所在地	ミズーリ州ジョブリン 3950 Newman Rd, Joplin, MO 64801 USA
設立年	1937年
運営	公立
受講プログラム	①Regular academic courses 及び ②International English Program
語学要件	①IELTS™ 6.0 with with writing score of 5.5 and no subject score below 5.0 / iBT TOEFL® 68 with writing score of 25 が望ましい
滞在方法	寮
滞在費(日本円概算)	約1,000,000円(\$1=¥120)
ビザ	F-1
参考URL	http://www.mssu.edu/



現地スタッフからのメッセージ

Missouri Southern State University is thrilled to welcome students from Ryukoku University, which has been our very best bilateral partnership university since the agreement was signed in 2000. The Japanese students help to internationalize our campus and community by teaching us about their culture and becoming friends with the Americans. I have seen many lifelong friendships develop as a result.

You will not find a safer and friendlier place to study in America than Missouri Southern State University. Joplin is a clean, Midwestern location with a small-town environment and fresh air. The university provides strong international student support, an International Club, and a Friendship Family Network. Special parties and activities are held for international students throughout the year.

Professors with doctoral degrees from the nation's most prestigious universities teach many of your classes; there are no graduate or teaching assistants. Class sizes are small; there are no large lecture halls. There is a strong International English Program for those students needing to take a class or two to improve their writing or speaking; the professors are extremely friendly and cooperative.

We will do everything possible to make sure that the semester or year you spend at Missouri Southern State University is the best experience of your lifetime. Please come and join us!

Dr. Chad Stebbins
Director, Institute of International Studies



交換留学

私費留学

提携留学

短期留学

BE Program留学

単位認定

Useful tips

FAQ

留学関連規程

マリスユクア対応

語学検定試験



アメリカ

南カリフォルニア大学

USC International Academy



■ 現地の環境

ロサンゼルスを中心に位置し、いろいろなアクティビティーが楽しめるダウンタウンまで数分。ロサンゼルスにはグルメ、ショッピング、美術館、コンサートホールなどが満載です。年間を通して温暖な気候で、キャンパスから30分ほどのビーチでのんびり過ごしたり、ハイキングへ出かけたりできます。バスや地下鉄へのアクセスも良く、ダウンタウンや周辺の都市へ簡単に行くことができます。



所在地	カリフォルニア州ロサンゼルス 3415 S. Figueroa Street, Los Angeles, CA 90089 U.S.A.
設立年	1880年
運営	私立
受講プログラム	Intensive English Program
語学要件	IELTS™ 5.5 / ITP TOEFL® 500 / TOEIC® 650 が望ましい
滞在方法	学生寮
滞在費(日本円概算)	約1,000,000円(\$1 = ¥120)
ビザ	F-1
参考URL	www.international.usc.edu www.usc.edu

現地スタッフからのメッセージ

Greetings Ryukoku University students! All of the faculty and staff here in the International Academy at the University of Southern California (USC) take great pleasure in welcoming you to our campus here in the heart of Los Angeles. We look forward to helping you achieve your goals in learning English and explore American culture.

Our Intensive English Program offers six convenient start dates for students to choose from, so you are never too far from starting your dreams of studying in Los Angeles. USC is a leading research university and one of the most culturally and ethnically diverse schools in the United States with international students making up almost 25% of the student body. Even Japan's Prime Minister Shinzo Abe studied English at USC! We have many years of experience working with Japanese students and work hard to build strong relationships with our Japanese university partners. When you come to study at the USC International Academy, you are coming to a program that knows and understands Japanese students. For over 20 years, we have helped students like you fulfill your English language ambitions.

While improving your English at the USC International Academy, you will be able to participate and experience in various cultural, educational, sporting and entertainment opportunities. Within a proximity there are world-famous musical concerts and attractions such as Universal Studios and Disneyland. Come to the International Academy at the University of Southern California and explore your dreams...we can't wait to meet you!

Michael Beamer, Associate Academic Director of USC International Academy





オーストラリア

ディーキン大学

Deakin University



■ 現地の環境

オーストラリアの東海岸先端部に沿って伸びるビクトリア州は、オーストラリアで2番目に小さい州ですが、同州は様々な地域と見どころにあふれています。また、州内に8つの大学が存在するなど、教育の州でもあります。広々と伸びる沿岸線から国立公園や森林地帯には、野生動物やワイナリー、湖と山が多数存在し、観光的魅力に事欠きません。ヨーロッパからの移民が多かったこともあり、多文化あふれる街中に並ぶ多くのカフェは有名です。



所在地	ビクトリア州メルボルン 221 Burwood Highway, Burwood, VIC 3125 Australia
設立年	1974年
運営	公立
受講プログラム	①English for Academic Purposes (EAP) もしくは ②General English (GE)
語学要件	①IELTS™ 4.5 ②No need
滞在方法	ホームステイ・寮
滞在費(日本円概算)	約1,000,000円(\$1=¥90)
ビザ	English Language Intensive Courses for Overseas Students (ELICOS) sector (subclass 570)
参考URL	http://www.deakin.edu.au/ http://www.deakin.edu.au/life-at-deakin/our-locations/melbourne-burwood-campus

現地スタッフからのメッセージ

Greetings from Deakin University English Language Institute, Deakin University

Deakin is the winner of the 2016 university of the year and Deakin University English Language Institute 2016 is the winner for English language training at the 2016 Governor of Victoria International Education awards. Deakin is also ranked first in the world for Exercise and Sports Science and 28 in the world for Education and 21 in the world for Nursing.

Deakin University English Language Institute (DUELI) is one of the leading English language providers in Australia and an integral part of Deakin University's international commitment. DUELI reflects and represents Deakin's outstanding commitment to student support and teaching excellence by delivering high quality English language programs and initiatives to international students studying in Melbourne and Geelong.

Studying English at Deakin provides you with a wonderful chance to meet new people and make life-long friendships with a wide range of people from all over the world. It is a fantastic opportunity to share knowledge, ideas and experiences.

At DUELI, students from all over the world come to study English for many different reasons. Whether you are planning to learn English to study an award course at Deakin University or for your own personal or professional development, our aim is to help you to use English to the best of your ability. Your success is our success.

I look forward to meeting you when you arrive and, with all the staff here, to assist you in achieving your pathway to success.

Ben Stubbs
Director
DUELI and Global Student Mobility
Deakin University



交換留学

私費留学

提携留学

短期留学

IELTSPogram

単位認定

Useful tips

F A Q

留学関連規程

マリスユクア対応

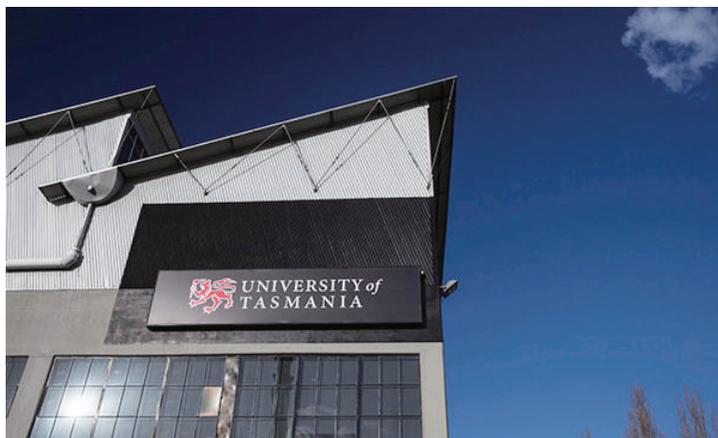
語学検定試験



オーストラリア

タスマニア大学

University of Tasmania



■ 現地の環境

ホバートは、タスマニア州の州都であり、オーストラリアではシドニーに次いで2番目に歴史のある古い都市です。タスマニア島の大きさは北海道より少し小さく本土からは飛行機で約一時間の距離です。タスマニア最大の都市ホバートは、歴史的遺産や生活様式と現代の活気にあふれた文化が混在する魅力的な街です。また、ホバート周辺にはウォンバット、ワラビー、カモノハシを始めとするオーストラリアのユニークな野生生物も生息しており、自然を身近に感じ満喫することができる地域でもあります。

所在地	タスマニア州ホバート Churchill Ave, Hobart, TAS 7005, Australia
設立年	1890年
運営	公立
受講プログラム	General English ●特別枠
語学要件	no need
滞在方法	ホームステイ
滞在費(日本円概算)	約750,000円(\$1=¥90)
ビザ	学生ビザ
参考URL	http://www.utas.edu.au/english-language-centre



現地スタッフからのメッセージ

Tasmania is unique. From its charming historic cities to its stunning World Heritage- listed wilderness, Tasmania is a truly remarkable island. It's a place of contrasts and offers one of the most beautiful natural environments in the world.

In choosing to study at the University of Tasmania's English Language Centre, you'll be choosing to study in an Australian university with a global reputation. The QS World University Rankings By Subject, placed The University of Tasmania amongst the world's top universities in a range of disciplines. The prestigious Academic Ranking of World Universities has ranked us in the top 300 universities in the world.

At the English Language Centre, our award-winning teachers have been helping students achieve their goals for over 30 years. Whether you want to improve your English to enter university, join a study tour group, advance your career or talk confidently with people during your travels, our friendly and experienced teachers can help you develop the skills you need to get there.

You'll learn in a supportive learning environment, have the opportunity to make lifelong friendships with students from around the world, and study at one of our beautiful university campuses in either Launceston or Hobart- where you can enjoy the many iconic tourist sites and activities.

I look forward to welcoming you to the English Language Centre and the university community.

Josie Gawron
Director-English Language Centre





ニュージーランド

ワイカト大学

The University of Waikato



■ 現地の環境

ワイカト地方の中心都市ハミルトンは、人口約15万人のニュージーランドで四番目に大きい都市です。市の南北をワイカト川がゆったりと流れ、その豊富な水源と穏やかな気候を利用した酪農が盛んです。郊外には羊や牛の群れを放牧する美しい牧場が見られ、ニュージーランドらしい自然風景が広がっています。



所在地	ワイカト地方ハミルトン 1 Knighton Rd, Hamilton 3240 New Zealand
設立年	1964年
運営	国立
受講プログラム	①Academic English 及び ②General English
語学要件	No need
滞在方法	ホームステイ
滞在費(日本円概算)	約800,000円(\$1=¥85)
ビザ	Student Visa
参考URL	http://www.waikato.ac.nz/ http://www.waikato.ac.nz/about/virtual-tour/

現地スタッフからのメッセージ

To the students at Ryukoku University

Waikato Pathways College and the University of Waikato in New Zealand and Ryukoku University have enjoyed a long-standing and successful relationship for a number of years. Students from your university have travelled to New Zealand every year to live with New Zealand families, experience the New Zealand lifestyle and culture, experience study and life at a New Zealand university and to study English alongside students from around the world.

I would like to extend an invitation to you to come and study with us in New Zealand as part of the long-standing relationship between our two universities. This experience will extend your English language learning, and will provide you with a range of other learning opportunities as you encounter other cultures and people, and live and share life with a New Zealand family. We have dedicated bilingual staff to support you during your stay and a network of experienced homestay families. The staff at the university are international, which gives vitality to the campus and a greater understanding of the needs of international students. There are services on campus that cater specifically for students who come from overseas to study at Waikato. The university campus offers all students a large number of educational, sporting, and cultural experiences and students from the College can meet students from across campus at these events.

Studying at Waikato Pathways College will be a truly memorable and special experience, and the people working at Waikato Pathways College are highly experienced and committed to looking after the needs of all our students. We look forward to welcoming you to New Zealand in the future.

Simon Peel Director, Waikato Pathways College



交換留学

私費留学

提携留学

短期留学

BE Program留学

単位認定

Useful tips

FAQ

留学関連規程

マリスユクア対応

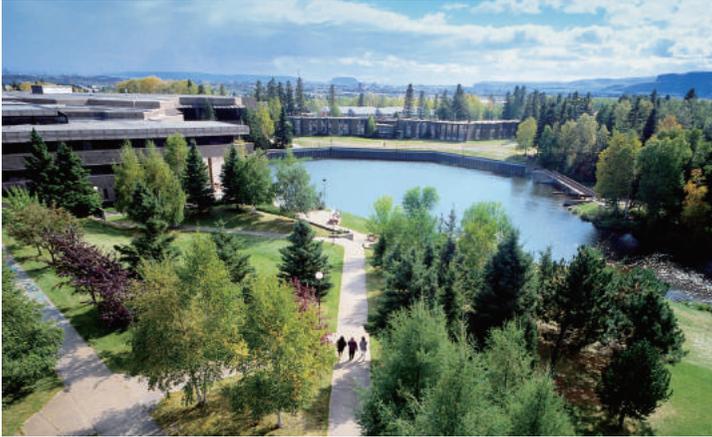
語学検定試験



カナダ

レイクヘッド大学

Lakehead University



■ 現地の環境

サンダーベイは、五大湖の中でも最大の面積を誇り、北海道とほぼ同じ大きさであるスペリオール湖西岸に位置する都市で、オンタリオ州北西部の中心都市として、この地域における教育と医療のサービス拠点となっています。豊かな自然と鉱物資源に恵まれ、水上交通の要所でもあったため、9,000年も前から先住民が暮らしていたといわれます。

北欧と同じような森林産業が盛んなことから、フィンランドからの移民が多いのも特長。地名や、建物、そして食事などいたるところにその北欧文化がかいま見られます。

所在地	オンタリオ州サンダーベイ 955 Oliver Rd, Thunder Bay, ON, P7B 5E1 Canada
設立年	1965年
運営	公立
受講プログラム	Academic English Program(AEP) + 1 or 2 credit course(s) (学部 1科目 or 2科目)
語学要件	IELTS™ 5.5 / iBT TOEFL® 64 / TOEIC® 700 / TOEIC® IP 700
滞在方法	ホームステイ / 寮
滞在費(日本円換算)	約750,000円(\$1=¥90)
ビザ	No need (eTA is needed)
参考URL	https://www.lakeheadu.ca/



現地スタッフからのメッセージ

Greetings from Lakehead University!

Lakehead University is a vibrant comprehensive public university that offers students a warm and welcoming campus environment. Our Thunder Bay campus is located in northwestern Ontario on the shores of Lake Superior, the world's largest freshwater lake. Thunder Bay is a safe, friendly, culturally diverse city surrounded by endless nature, fresh air, beautiful lakes and lush forests. We are known for our international outlook, strong student support and small class sizes.

Our dynamic English language programs combine academic skills, such as reading, essay and report writing, presentations and verbal communication, with exciting cultural activities and events. You will be immersed in English as well as in the community. We offer exceptional individual instruction in small classes, and you can also take part in a wide variety of classes and extracurricular activities to support your learning.

We truly look forward to welcoming you to Lakehead, where you will have truly Canadian experience!

James Aldridge,
Vice-Provost
Lakehead University





カナダ

アルバータ大学

University of Alberta



■ 現地の環境

エドモントン市は、人口が100万人程度の近代的でマルチカルチュラルな都市です。住民は暖かく親切で、クリーンで安全な街並みと友好的なコミュニティが訪れる人々を迎えます。エドモントン市はアルバータ州経済の中心地として石油・ガス産業の中枢を支え、職住にとっても適した都市です。夏期に開催される多くのフェスティバルや緑が美しいノース・サスカチュワン川渓谷、世界最大級を誇るショッピングセンター「ウエスト・エドモントン・モール」、プロスポーツ観戦やコンサートなど、エドモントンでは年間を通じていろいろなアクティビティが楽しめます。



所在地	アルバータ州エドモントン 116 St. and 85 Ave., Edmonton, AB, Canada
設立年	1908年
運営	公立
受講プログラム	International visiting Student Program (IVSP)
語学要件	IELTS™ 5.5 / TOEFL iBT® 70
滞在方法	学生寮 / ホームステイ
滞在費(日本円換算)	1,700,000円(\$1=¥90)
ビザ	学生ビザ
参考URL	https://www.ualberta.ca/admissions-programs/visiting-student-and-internship-programs/visiting-student-certificate-program

現地スタッフからのメッセージ

Hello! I am so pleased that you are considering the International visiting Student Program (IVSP) at the University of Alberta in Canada, for your study abroad experience. The IVSP provides a great opportunity for students to improve English language skills and to experience regular university courses with other international and Canadian students. There are so many reasons that we think the University of Alberta is a great place to study and I can think of 3 to share with you right now.

Diversity

With more than 30,000 students, the University of Alberta is one of Canada's top 5 universities. UAlberta has a strong research reputation which means there are many subject options for you to choose from. Step into a classroom with students from more than 150 countries around the world! Experience four seasons in the multicultural city of Edmonton. You can forge strong international friendships and exchange different ways of thinking and problem solving.

Community

Studying abroad is fulfilling but can also be challenging. The International visiting Student Program (IVSP) has advisors to assist you with every aspect of your life in Canada from daily challenges to academic studies. The advisors will help you to connect with the campus and the people of Edmonton. Additionally, living in a campus residence will give you access to an instant network of students to share your life with.

Environment

While at the University of Alberta you will be able to explore Edmonton's beautiful, natural river valley, learn about dinosaurs in Drumheller, Alberta, and hike or snowboard in the Canadian Rocky Mountains. Edmonton is known for having the most sunshine of any city in Canada and is a safe, comfortable place to live.

I hope that you will agree that diversity, community and environment make the University of Alberta a great place to study, learn and grow! I look forward to welcoming you to Edmonton!

Leila Ranta, Associate Professor and IVSP Academic Advisor, Department of Educational Psychology, Faculty of Education



交換留学

私費留学

提携留学

短期留学

BE Program

単位認定

Useful tips

FAQ

留学関連規程

マリニシユクア対ル応

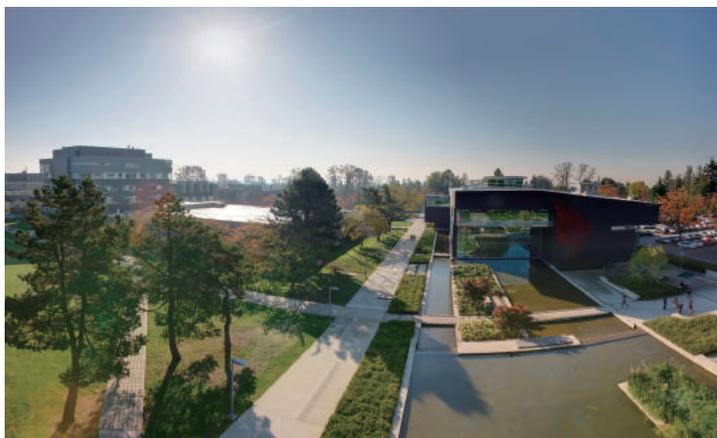
語学検定試験

カナダ

Langara.
THE COLLEGE OF HIGHER LEARNING.

ランガラカレッジ

Langara College



■ 現地の環境

大自然を残しながらも都会としての魅力を併せ持った美しい都市として世界的に知られているバンクーバー。カナダ西海岸の都市としては最大規模で、アジアやアメリカからカナダへ入る際の西の玄関口となっています。海流の影響による温暖な気候と周囲の雪山の美しさでも有名です。様々なアクティビティを年間通して楽しめる最適な立地条件と、輝くような大都会の景観という2つの魅力を備えており、自然環境と洗練された世界トップクラスの都市生活を同時に楽しめる貴重な街です。

所在地	ブリティッシュコロンビア州バンクーバー 100 West 49th Avenue, Vancouver, BC, V5Y 2Z6 Canada
設立年	1994年
運営	公立
受講プログラム	Langara English for Academic Purposes (LEAP)
語学要件	IELTS™ 5.0 / PBT TOEFL® 500 / TOEIC® 600 / TOEIC® IP 600 が望ましい
滞在方法	ホームステイ
滞在費(日本円換算)	約650,000円(\$1=¥90)
ビザ	No need (eTA is needed)
参考URL	http://langara.ca/



現地スタッフからのメッセージ

Langara College is located in center of spectacular Vancouver city, British Columbia, Canada. Vancouver offers you beautiful nature of mountains, parks and ocean, and it is voted for the world's best city to live in for five consecutive years.

Langara College has a total of 13,000 students with 3,500 international students who are from 80 countries. International students are welcome to participate variety of activities offered on campus including Langara PLUS, clubs, volunteer opportunities and workshops which support your campus life.

You will be studying in a superior English language program, Langara English for Academic Purposes (LEAP). It is an ESL program designed to prepare students for successful full-time study at English language universities and colleges. The program is intensive, but you will learn a lot while you are in the program.

I look forward to welcoming you all in Vancouver!

Tomoe Aoyagi
Associate Director
International Marketing & Business Development
International Education





アイルランド

ユニバーシティ・カレッジ・コーク

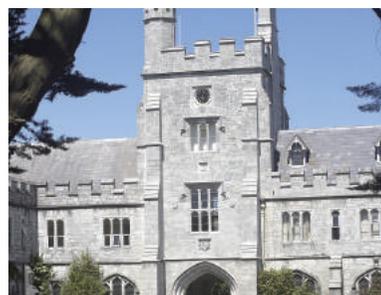
University College Cork



■ 現地の環境

コークはマンスター地方にあるダブリンに次ぐ国内第2の都市で南部アイルランドの中心的な存在です。町を横切るように流れるリー川の周辺ではアイルランドらしい街並みや風景を楽しむことができます。7世紀から教会の町として発展したことから街には多くの教会があり、聖アン教会や、3本の尖塔が印象的な聖フィンバー大聖堂が有名です。交通の便が発達した商業都市である一方、街中に残る中世の建築物に歴史を感じることができます。また、美食の街としても有名で、映画祭やジャズ・フェスティバルも毎年開催されることから、2005年には欧州文化首都にも選ばれています。

所在地	マンスター地方コーク州 University College Cork, College Road, Cork T12 YN60, Ireland
設立年	1845年
運営	国立
受講プログラム	①General English Course ②Evening English Course (選択)
語学要件	no need
滞在方法	ホームステイ
滞在費(日本円換算)	約850,000円(€1=¥135)
ビザ	不要 ※The Garda National Immigration Bureau (入国管理局)にて外国人登録が必要
参考URL	https://www.ucc.ie/en/esol/courses/



現地スタッフからのメッセージ

Hello from University College Cork, Ireland.

We are very pleased to learn you are coming to study English with us here at Ireland's most beautiful campus, and also to Cork.

Cork is Ireland's second city. It has the charm of a village and you will find as you walk around our city and get to know the city that the local people are kind and friendly. A great thing about Cork is that it is close to some of the most spectacular beaches and coastline in Ireland. Make sure to take some time to explore our amazing countryside.

The English classes are fun, but intense. You will have great opportunities to develop and practise your English while here with us. Our University Language Centre has two language laboratories where you can study independently after class. Your teachers will advise on how to make the most of your time outside the classroom.

As a student, you have full access to all the facilities of our University. You can study in the library, relax in one of our cafes or bars, or work out in our excellent leisure centre. To fully enjoy and maximise your English language learning experience make sure to join one of the many clubs and societies the university has. This is a great way to make new friends, discover more about Ireland and the Irish, and of course, to improve your English.

We hope your stay with us will be a memorable one. We are here to help you at all times.

Brendan Ó Sé
English Language Teacher/CELTA Teacher Trainer
Marketing Coordinator



交換留学

私費留学

提携留学

短期留学

BE Program等

単位認定

Useful tips

FAQ

留学関連規程

マリスユクア対応

語学検定試験

短期留学



実践的な語学力を習得し、異文化を理解するには、実際に海外に行ってその土地の文化に触れ、外国語を話す環境で学ぶことが大変有効な手段となります。

このため、国際学部では前項の「長期留学」だけでなく、学部独自の「短期留学制度」を設けて、留学を積極的に奨励しています。

語学力の向上や、異文化理解、長期留学へのひとつのステップとして、積極的にこれらの制度を利用してください。



■短期留学制度の概要

短期留学は、授業期間ではなく、夏期・春期の長期休業期間に留学するものです。一定の要件を満たした研修内容であれば、留学サポートデスクに申込み、研修後書類を提出することによって、卒業要件として最大2回8単位までの単位認定を受けることができます。

短期留学は以下の4つの種別に分かれており、語学以外の研修内容でも単位認定できるのが特長です(長期留学ではフィールドワーク・インターンシップ等は単位認定の対象にはなりません)。

また、それぞれの種別によって要件や認定単位数が異なります。(詳しくはP32「単位認定」を参照してください)

短期留学の種別	内 容	学部企画の有無
語学研修	大学や語学学校などで行われる語学研修プログラムなど	学部企画・自己応募
その他の研修	大学、研究所の主催する研修講座、NGO等の企画するスタディーツアーなど	自己応募のみ
フィールドワーク	演習にて指定または実施する海外実習など	自己応募のみ
インターンシップ	在外企業、国際機関等へのインターンシップ	自己応募のみ

※語学研修については、国際学部が主催する「学部企画」のプログラムがあります。

「学部企画」のプログラムは集中授業をとおして実践的な語学力を養うとともに、アクティビティー(課外活動)をとおして歴史、文化について理解を深められるような内容となっています。

また、学部企画以外でも、要件を満たしていれば、自らが探して選んだ研修プログラムで単位認定を申し込むこともできます(「自己応募」)。

「国際文化実践プログラム」に関しては、別途周知されますので、そちらを参照してください。説明会に出席し、積極的に参加してください。

※米国においてはF-1のビザ(学生ビザ)ではインターンシップを行えませんので、注意してください。

■申込期間

1. 学部企画

学年始めにお知らせします。

2. 自己応募

夏期(8月～9月)に研修に参加する場合:5月中旬まで

春期(2月～3月)に研修に参加する場合:10月中旬まで

※ただし、主催者の都合等で、上記期間までに手続きができない場合などは、留学サポートデスクまで相談に来てください。

■申込み時の注意点

- 自己応募(語学研修)の場合、3週間かつ45時間以上(IC学科生)、3週間かつ90時間以上(GS学科生)の学修時間があること。その他の研修は、1週間以上であること。
- 「修了証」等の証明書が発行されるプログラムであること。
- 自己応募の場合、推薦書は専任教員のものであること(グローバルスタディーズ学科はスーパーバイザーに限る。非常勤講師は不可)。



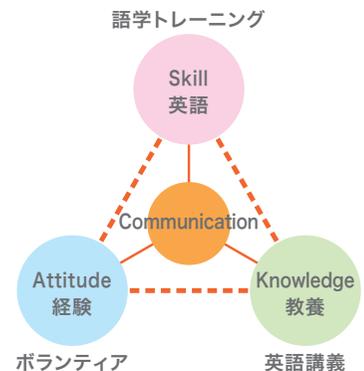
BIE Program 留学



BIE Program (Berkeley Intercultural English Program) 留学は、龍谷大学のRyukoku University Berkeley Center (アメリカ・カリフォルニア州バークレー) を利用した本学独自の留学プログラムです。「英語学習」「ボランティア」「英語講義」を組み合わせたプログラムで、コミュニケーションを通じた英語運用能力の向上とともに多民族文化が共存するアメリカ社会での現場体験を通じ、広い視野と柔軟な発想を学ぶことはみなさんにとって有意義な経験となることでしょう。5-week (5週間) とSemester (4ヶ月) の2つのプログラムが年間2本 (合計4本) あります。留学期間は在学期間に算入され、5-weekプログラムは最大6単位、Semesterプログラムは最大18単位まで認定可能です。

	留学期間	募集期間
5-week summer program	8月上旬～9月下旬	4月下旬～ 5月中旬
5-week spring progra	2月中旬～3月下旬	10月中旬～10月下旬
Fall semester program	10月上旬～2月中旬	5月上旬～ 5月下旬
Spring semester program	3月下旬～7月下旬	11月中旬～11月下旬

プログラムの詳細等は、グローバル教育推進センター事務部まで問い合わせてください。



※RUBeC (ルーベック) はカリフォルニア州バークレーの浄土真宗センター内にあり、龍谷大学の教育・研究の海外拠点として、スタッフが常駐し、龍谷大学生の留学サポートや教職員の研究をサポートします。

BIE Program留学のメリット

1. 安心のサポート体制 (RUBeCに日本人スタッフが常駐しているため、サポート体制は万全)
2. 単位認定可能 (5-week Programは最大6単位、Semester Programは最大18単位)
3. 留学費用の一部を大学が負担
4. 奨学金制度 (成績優秀者には奨学金を給付)
 - 5-week Program: 10万円/人 (最大2名)
 - Semester Program: 30万円/人 (最大2名)

単位認定

国際学部国際文化学科が定める認定方法は次のとおりです。

なお、プログラムにおいて全ての講義やプログラムを合格することが単位認定の条件となり、認定の結果は帰国後に判定されるため、認定を確約するものではありません。

留学種別		5-week program		単位	Semester program		単位
単位認定分野	学科外国語科目	科目名	語学研修A(英語)	2	語学研修A(英語)	2	
					English Communication Speaking, Writing, Reading	3	
					パークレー語学	5	
	学部専攻科目(共通)		パークレー講義	2	パークレー講義	4	
			パークレーボランティア	2	パークレーボランティア	4	
			合計	6	合計	18	



単位認定

留学許可＝単位認定ではありません

単位認定は帰国後、期間内における指定書類の提出や、
教授会による単位認定審査を終えて完了します。
留学中の単位は帰国後にしかわかりません。
所属コースや既得科目を考慮し、
留学前後の履修計画を立て留学をしてください。

留学先で修得した授業科目は教授会等を経て学部生は1 Semester 22単位、
大学院生は10単位を上限として認定されます。

単位認定は、留学先大学等における学修の成果(成績証明書・修了書)およびレポート、
あるいは教授会の承認するプログラムの成果に基づき、
留学の内容に応じて以下の基準によりおこないます。

単位認定分野

次の卒業要件分野の単位として、それぞれの学科で単位認定をおこないます。

長期留学

※交換・私費・提携

国際文化学科(交換・私費)	グローバルスタディーズ学科(交換・提携)
国際文化学科外国語科目 国際文化学科専攻科目 (GS学科提供科目を含む)	グローバルスタディーズ学科外国語科目 グローバルスタディーズ学科専攻科目 (IC学科提供科目を含む)

短期留学

種別	国際文化学科	グローバルスタディーズ学科
語学研修	国際文化学科外国語科目 国際文化学科専攻科目 国際文化実践プログラム	グローバルスタディーズ学科外国語科目
その他研修		グローバルスタディーズ学科専攻科目
フィールドワーク		グローバルスタディーズ学科専攻科目
インターンシップ		(国際文化学科提供科目を含む)



単位認定方法

国際文化学科における交換留学・私費留学の場合

(語学プログラムの場合)

留学先で語学プログラムを受講した際には、**学修時間22.5時間を1単位**として単位数に換算した上で、それぞれの所属学科の単位認定対象科目として認定をおこないます。

例 受講した講義科目の総授業時間数が300時間だった場合

300時間÷22.5時間=13単位(最大単位数)※

※個人により履修する授業が異なるため最大の単位数は異なります。

帰国書類に基づき総合判断のもと単位が決定します。

単位認定対象科目については、P36を確認してください。

(講義科目の場合)

留学先で講義を受講した際には、**学修時間11.25時間を1単位**として単位数に換算した上で、それぞれの所属学科の単位認定対象科目として認定をおこないます。

例 受講した講義科目の総授業時間数が150時間だった場合

150時間÷11.25時間=13単位(最大単位数)※

※個人により履修する授業が異なるため最大の単位数は異なります。

帰国書類に基づき総合判断のもと単位が決定します。

原則として上記の換算方式によって認定単位数を算出します。しかしながら、学生が特に希望する場合は、講義科目を受講した学生のみ、科目区分の順にかかわらず所属学科の開講科目に読替認定することができます。その場合は学修時間による単位換算方法を採用しません。

グローバルスタディーズ学科における提携留学・交換留学の場合

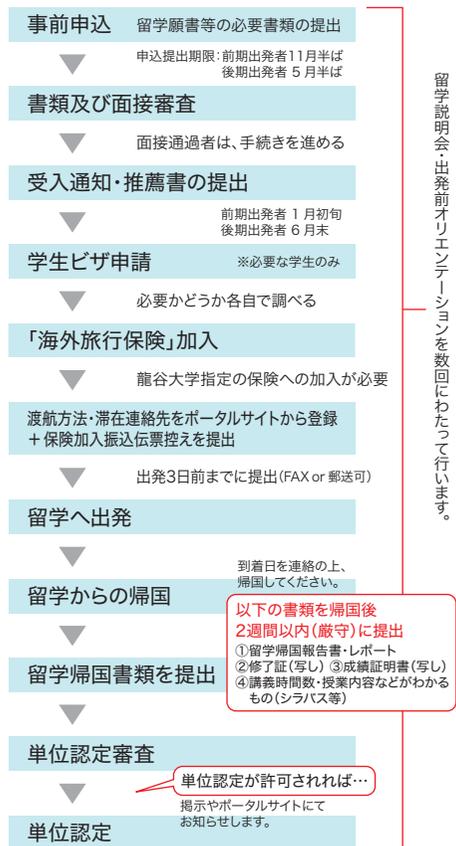
留学先の講義科目を受講した場合は、1科目につき龍谷大学の2科目(4単位)として読み替え(最大16単位)、語学科目を受講した場合は、学修時間22.5時間を1単位として換算し単位認定を行います。(最大8単位)

ECTS(European Credit Transfer System 欧州単位互換制度)を用いる大学で修得した単位は、1ECTSを $\frac{2}{3}$ 単位として換算する。(例:3ECTS=2単位、4ECTS=2単位、5ECTS=3単位、6ECTS=4単位、7ECTS=5単位)

その他「Study Abroad Project A」(6単位)、または「Study Abroad Project B」(6単位)は、現地における学修時間がわかるもの(シラバス等)、および現地における学修成果物(レポート等)の提出を以て単位認定をおこないます。

私費長期留学単位認定までの流れについて

単位認定を受けるには、出発前・帰国後、以下の手続きが必要です。



短期留学

原則として、帰国後10日以内に、以下の書類を提出してください。(提出がない場合は単位認定の対象となりません)

1. 修了証(写)
2. 研修報告書(自己応募の場合のみ)
3. 帰国レポート(3,000字程度) 以下の項目をすべて含むこと

テーマ:①短期留学参加にあたって何を目標にし、留学前や留学中にその目標に向かってどう取り組んだか
②留学先での授業や日常生活において、どのような発見や新しい体験があったか
③留学経験を今後どのように活かしたいか
④留学に行く前の学生に「今のうちにこれをしましょう」と伝えるとすればどのようなことを伝えたいか

書式:①A4縦、横書き文書(手書き不可)

1ページの文字数は1行40字

フォントはMS明朝体

サイズは10.5ポイント

- ②一枚目用紙右上に学籍番号・氏名を入力
- ③ページ数を各ページ右下に入力
- ④テーマ①～④は太字で表記

その他の留意点

1. 研修期間が正規授業期間(定期試験期間含む)と重複する場合は、単位認定の対象とはなりません。
2. 卒業年次生は卒業要件単位ではなく、随意科目として単位認定します。
3. 単位認定の対象となる短期留学は、原則として在学中2回以内です。
4. 単位認定対象研修については、本学指定の海外旅行傷害保険に加入しなければなりません。

※単位認定を受けるための書類は帰国後2週間以内に提出すること

留学から帰国後2週間以内(短期は10日以内)に、定められた書類をすべて提出してください。提出がない場合は、単位認定の対象となりません。

なお、本人の帰国日から起算して、単位認定に必要な書類が60日以内(60日目が留学サポートデスク閉室日の場合は翌開室日)に留学サポートデスクに提出されない場合、すべての単位認定は行いません(ただし、留学先機関からの書類発行が遅れている等、本人の過失によらない遅延は上記の日数に算入しません。その場合も必ず事前に留学サポートデスクに申し出てください)。



単位認定の例

語学プログラム (主に私費留学)

所属学科: 国際文化学科

Intensive English Program

Writing	授業1回100分×4回/週×15週間	
Reading	授業1回100分×4回/週×15週間	
Speaking/Listening	授業1回100分×4回/週×15週間	
Work Shop	授業1回100分×1回/週×15週間	325時間 単位換算数

合計 325時間 14単位
(325時間÷22.5=14.44)

上記単位換算数に基づき、単位認定対象科目から14単位分を単位認定

科目名	単位数
語学研修A(英語)	2
語学研修B(英語)	4
English Workshop A	2
English Workshop B	2
English Workshop C	2
English Workshop D	2

※未修得科目に限る 14

総合計単位数 14単位

講義科目 (主に交換留学、提携留学)

所属学科: グローバル
スタディーズ学科

Creative Writing

『English Workshop A』(2単位)	読替認定	4単位
『English Workshop B』(2単位)		

Intercultural Communication

『多文化交流論A』(2単位)	読替認定	4単位
『多文化交流論B』(2単位)		

合計 8単位

Developmental Oral Language 授業1回75分×5回/週×15週間 94時間 単位換算数

講義 合計 94時間 4単位
(94時間÷22.5=4)

上記単位換算数に基づき、単位認定対象科目から12単位分を単位認定

科目名	単位数
読替認定	8
海外研修	4

※未修得科目に限る

現地での学修時間がわかるもの(シラバス等)、および現地での学修成果物(レポート等)の提出を以て単位認定

Study Abroad project	6
----------------------	---

総合計単位数 18単位

国際文化学科 単位認定対象科目 一覧

言語	単位認定科目	単位数	配当年次	分野	区分
英語	English Communication III-Speaking	1	2前	外国語	必修
	English Communication III-Writing	1	2前	外国語	必修
	English Communication III-Reading	1	2前	外国語	必修
	English Communication IV-Speaking	1	2後	外国語	必修
	English Communication IV-Writing	1	2後	外国語	必修
	English Communication IV-Reading	1	2後	外国語	必修
	English Workshop A	2	2前	学科専攻	選択
	English Workshop B	2	2後※	学科専攻	選択
	English Workshop C	2	3前※	学科専攻	選択
	English Workshop D	2	3後※	学科専攻	選択
	上級英語A	2	3前	学科専攻	選択
	上級英語B	2	3後	学科専攻	選択
	Advanced English A	2	3前	学科専攻	選択
	Advanced English B	2	3前	学科専攻	選択
	Advanced English C	2	3後	学科専攻	選択
	Advanced English D	2	3後	学科専攻	選択
	英語外書講読A	2	3前	学科専攻	選択
	英語外書講読B	2	3後	学科専攻	選択
	語学研修A(英語)	2	1前	外国語	選択
	語学研修B(英語)	4	1前	外国語	選択
Career English	2	3前・後	GS学科提供科目	フリー	
Critical Reading	2	2前・後	GS学科提供科目	フリー	
初修 (※) 欄外参照	初修外国語Ⅲ	3	2前	外国語	必修
	初修外国語Ⅳ	3	2後	外国語	必修
	初修外国語セミナーⅠ	4	2前	学科専攻	選択
	初修外国語セミナーⅡ	4	2後	学科専攻	選択
	初修外国語セミナーⅢ	4	3前	学科専攻	選択
	実践初修外国語A	2	2後	学科専攻	選択
	実践初修外国語B	2	2後	学科専攻	選択
	実践初修外国語C	2	3前	学科専攻	選択
	実践初修外国語D	2	3後※	学科専攻	選択
	語学研修A(初修外国語)	2	1前	外国語	選択
	語学研修B(初修外国語)	4	1前	外国語	選択

原則として、上記科目で単位認定をおこなう。

※初修は、フランス語・中国語・ロシア語を指す

ただし、留学先における受講プログラムおよび受講科目の内容に応じて、上記に加えて「演習」「卒業論文」以外の学科専攻科目も認定対象とできる。履修状況によっては、1年次配当科目も対象となることがある。

〈注意〉

必修外国語とは異なる言語圏へ留学した場合、必修外国語は単位認定対象とならない可能性が高くなります。

※2019年度以降の入学生対象。

2018年度以前の入学生については、

English Workshop B:2前

English Workshop C:2後

English Workshop D:2後

実践初修外国語D:3前



グローバルスタディーズ学科 単位認定対象科目 一覧

授業科目名(和文)	単位数	配当年次	分野	区分
海外研修	4	1前	学科専攻	選択
自然人類学概論	2	1前	学科専攻(国際文化学科提供科目)	選択
社会心理学	2	1後	学科専攻(国際文化学科提供科目)	選択
歴史入門	2	1前	学科専攻(国際文化学科提供科目)	選択
現代経済と文化	2	1後	学科専攻(国際文化学科提供科目)	選択
文化人類学入門	2	1前	学科専攻(国際文化学科提供科目)	選択
映像文化入門	2	1後	学科専攻(国際文化学科提供科目)	選択
大衆文化入門	2	1前	学科専攻(国際文化学科提供科目)	選択
メディア文化入門	2	1後	学科専攻(国際文化学科提供科目)	選択
物語と文学	2	1後	学科専攻(国際文化学科提供科目)	選択
比較文化入門	2	1前	学科専攻(国際文化学科提供科目)	選択
English Workshop A	2	2前	学科専攻(国際文化学科提供科目)	選択
English Workshop B	2	2前	学科専攻(国際文化学科提供科目)	選択
English Workshop C	2	2後	学科専攻(国際文化学科提供科目)	選択
English Workshop D	2	2後	学科専攻(国際文化学科提供科目)	選択
上級英語A	2	3前	学科専攻(国際文化学科提供科目)	選択
上級英語B	2	3後	学科専攻(国際文化学科提供科目)	選択
Advanced English A	2	3前	学科専攻(国際文化学科提供科目)	選択
Advanced English B	2	3前	学科専攻(国際文化学科提供科目)	選択
Advanced English C	2	3後	学科専攻(国際文化学科提供科目)	選択
Advanced English D	2	3後	学科専攻(国際文化学科提供科目)	選択
多文化交流論A	2	2前	学科専攻(国際文化学科提供科目)	選択
多文化交流論B	2	2後	学科専攻(国際文化学科提供科目)	選択
多文化共生と宗教	2	2後	学科専攻(国際文化学科提供科目)	選択
環境人類学	2	2前	学科専攻(国際文化学科提供科目)	選択
環境保全論	2	2後	学科専攻(国際文化学科提供科目)	選択
フィールド実習	2	2後	学科専攻(国際文化学科提供科目)	選択
言語とこころA	2	2前	学科専攻(国際文化学科提供科目)	選択
言語とこころB	2	2後	学科専攻(国際文化学科提供科目)	選択
NGO/NPO論	2	2前	学科専攻(国際文化学科提供科目)	選択
国際政治学入門	2	2前	学科専攻(国際文化学科提供科目)	選択
都市計画論	2	2前	学科専攻(国際文化学科提供科目)	選択
英語外書講読A	2	3前	学科専攻(国際文化学科提供科目)	選択
英語外書講読B	2	3後	学科専攻(国際文化学科提供科目)	選択
比較言語学	2	3後	学科専攻(国際文化学科提供科目)	選択
Exploring Cultures	2	2後	学科専攻(国際文化学科提供科目)	選択
Comparative Culture	2	2後	学科専攻(国際文化学科提供科目)	選択
観光学入門	2	2前	学科専攻(国際文化学科提供科目)	選択
観光社会論	2	2前	学科専攻(国際文化学科提供科目)	選択
国際観光論	2	2後	学科専攻(国際文化学科提供科目)	選択
ホスピタリティ論	2	2前	学科専攻(国際文化学科提供科目)	選択
観光心理学	2	2後	学科専攻(国際文化学科提供科目)	選択
観光文化論A	2	2後	学科専攻(国際文化学科提供科目)	選択
観光文化論B	2	3前	学科専攻(国際文化学科提供科目)	選択
Study Abroad Project A	6	2前	学科専攻	選択
Study Abroad Project B	6	2後	学科専攻	選択
インターンシップ アプローチI	2	3前・後	学科専攻	選択
インターンシップ アプローチIIブロードII	4	3後・4前	学科専攻	選択

原則として、上記科目で単位認定をおこなうが、その他の科目についても場合により対象とする。

ただし、留学先における受講プログラムおよび受講科目の内容に応じて、

上記に加えて「演習」「卒業論文」以外の学科専攻科目も認定対象とできる。

履修状況によっては、1年次配当科目も対象となることがある。

Useful tips

事前準備編

パスポート

パスポート(旅券)とは、政府ないしそれに相当する公的機関が交付し、国外に渡航する者に国籍およびその他身分に関する事項に証明を与え、外国官憲に保護を依頼する公文書です。つまり、パスポートは国外においては自分の身分を証明する公的で最も通用度の高い身分証明書であり、海外へ渡航する際には必ず取得しなければならないものです。日本の旅券の有効期間は発効日から5年または10年の2種類があり、20歳未満は5年の旅券のみ申請できます。申請、交付事務は各都道府県の旅券事務所で取り扱われています。

●Passport A to Z(外務省ホームページ)

<http://www.mofa.go.jp/MOFAJ/toko/passport/>

●各都道府県の旅券事務所ホームページ

京都府 <http://www.pref.kyoto.jp/passport/index.html>

大阪府 <http://www.pref.osaka.jp/passport/index.html>

兵庫県 <http://www.hyogo-passport.jp/>

奈良県 <http://www.pref.nara.jp/bunkak/ryoken/>

滋賀県 <http://www.pref.shiga.jp/b/kokusai/passport/>

ビザ

ビザとは、政府ないしそれに相当する公的機関が、外国人の入国および滞在がさしつかえないことの判断を示し、その許可を証した書類のことを言います。ただし、ほとんどの国や地域は、入国の最終的な決定権はその国の入国審査官にあるため、ビザはあくまで入国の推薦書類であり、入国を保証するものではありません。

ビザの要・不要、申請のための必要書類、発行までに要する時間、申請手数料などは国によって様々で、その規定は予告なく変更されることがあります。申請にあたっては、必ず留学先国の在日大使館または領事館などに直接問い合わせ、最新で正確な情報を得た上で手続きをおこなってください。申請先は原則、留学先国の在日大使館または領事館です。場合によっては、発行までに長い時間を要することがあるので注意が必要です。

留学生の場合は、一般的に「学生ビザ」や「留学ビザ」を取得することになります。ただし、短期間の留学であればビザが不要の国、滞在期間にかかわらずビザ取得の必要がなく、入国後に滞在許可申請を行う国、出発前に現地移民局などから滞在許可証を取得する国など、様々です。この点についても、事前に十分調べておくことが求められます。

学生ビザは、留学期間や在留目的により学生ビザの申請が必要かどうか、各国が設定している条件により異なります。各自留学先国の大使館のwebサイト等を確認し、必要があれば取得し出発してください。国によっては、ビザ発給に1～2ヶ月の時間を要します。特に夏の時期は大使館が大変混み合うことから、早めの申請をおすすめします。

※ビザ申請には、留学先学校の受入通知書が必要です。まずは留学先学校への申込みを計画的に進めましょう。

申請から受領までの流れ

申請先は、住民登録のある各都道府県の旅券事務所ですが、一定の条件を満たせば居所申請により、住民登録のある都道府県ではなく現在居住している都道府県でパスポートを申請することもできます。

●申請時に必要な書類

一般旅券発給申請書…1通	住民票の写し……………1通
戸籍謄本、または抄本…1通	写真(45mm×35mm)…1葉
本人確認書類(運転免許証など)	

※各自、外務省および各都道府県の旅券事務所ホームページを参照すること。

※申請から受領までは、通常1週間程度(土・日・休日を除く)かかります。

パスポートを受け取る時には次のものが必要で、また、必ず本人が交付(申請)窓口で交付を受ける必要があります。

●受領に必要な書類

申請の時に渡された受理票(受領証)
手数料 10年間有効な旅券(20歳以上)…16,000円 5年間有効な旅券(12歳以上)…11,000円 (必要額の収入証紙及び収入印紙を受領証に貼付)

●申請時に必要な書類

パスポート	留学の理由書・志望動機書
入学許可書 (留学先大学が発行したもの)	ビザ申請書
航空券または船舶券	申請料
財政能力証明書 (預金残高証明書など)	写真1～2枚
経歴書	健康診断書
滞在先証明書	戸籍謄(抄)本、住民票
警察証明書(無犯罪証明書)	保険加入証明書
	保証人による保証書
	語学能力証明書・成績証明書

※上記は一般的に必要な書類です。必要な書類は留学先国、また個人によっても異なるため、各自で必ず確認すること。

※上記の書類について、在日外国領事による認証(「領事認証」、大使館などが指定する団体による現地語訳、外務省による証明(「公印確認」「アポステイーユ」)などが求められることもあります。

【注意点】

- カナダ→6ヶ月未満の滞在は、電子渡航認証(eTA)が必要
6ヶ月以上の滞在は学生ビザ及び生体認証登録が必要
- オーストラリア→海外留学生保険(OSHC)に加入必須
- フランス→本人がキャンパスフランス(京都)、フランス大使館(東京)まで直接申請に行かなければならない
- イギリス→6ヶ月以上の滞在は学生ビザ(Tier4等)、国民保険サービス(NHS)への加入必須
- ニュージーランド→ビザ申請に宿泊証明書と航空券(予約)が必要
- アメリカ→ビザ申請の為に面接があり、事前の予約が必要
(休館時期注意!)
- アイルランド→ビザ不要だが、渡航後「入国管理局」にて外国人登録が必要
- 中国→6ヶ月以上の留学はビザ、および指定病院で健康診断が必要
- 韓国→90日以上(2学期以上)滞在中就学ビザ(D-4)必要

外務省海外安全ホームページの確認

渡航前には、安全面、生活面で必要な現地の情報収集をおこなってください。また、滞在先では「自分の身は自分で守る」という心構えを持つようにしてください。※トラブルが発生した場合は、日本のご家族と龍谷大学国際学部教務課、保険会社に連絡すること！

●外務省海外安全ホームページ <http://www.anzen.mofa.go.jp/>

生活編

オリエンテーション

海外の大学の多くは、新たに到着した留学生にキャンパスや学内施設を紹介し、その大学で学生生活を送るにあたって知っておくべきことについて知らせるために、授業開始前にオリエンテーションを開催しています。オリエンテーションの期間は、留学先によって異なります(半日程度のものから1週間以上に渡ることもあります)。参加が義務付けられている場合もあれば自由参加の場合もありますが、できるだけ出席しておくことをおすすめします。オリエンテーションで扱われるテーマは、学内施設(食堂、自学自習スペースや図書館や医療センター等々)の紹介や、各種支援サービスなどの紹介、履修登録の方法、その国の文化・生活についての説明、ビザや法規制に関する説明など多岐にわたります。どれも、その国で留学生生活を送るために大切な情報です。また、オリエンテーションの場では他の留学生と出会ったり、留学生アドバイザーと知り合ったりすることもできます。

食 事

食事のパターンは、大きくわけて以下の3つがあります。いずれの場合でも、偏食を避けて栄養のバランスを考えた食事を摂るように心がけましょう。

●Meal-Plan

Meal-Planは通常、1週間あたりの食事の回数が決まっており、その回数は自分のライフスタイルに合わせて選べる人が多いようです。食事はビュッフェ形式であることが多く、好きなものを好きなだけとることができる仕組みになっています。

●ホームステイでの食事

ホームステイの場合、一般的には平日は朝・夕食付き、週末や休日は朝・昼・夕食付となっています。平日の昼食は、各自で留学先大学のカフェテリアや大学近くのレストランなどで食べることになります。その他、平日・休日を問わず1日3食付の場合もあり、その場合は平日の昼食は自分でお弁当を準備して持参することが多いです。

●自炊

寮の部屋に備え付けられているキッチンや共同キッチンで自炊することができる宿舎もあります。できるだけバランスを考えた食事を用意するようにしましょう。

住 居

留学先での住居は主に次の2つに分けられ、大学側が指定する住居に滞在します。ただし、留学先地域・大学によって、また、年度や空き状況によって異なります。

●大学寮

大学内にある学生寮に滞在する形態です。ルームメイトがいる複数人数の部屋もあれば、個室がいくつかあり、共同で利用するリビングやキッチン、バスルームなどに隣接しているアパートタイプのものなど、様々なものがあります。ほとんどの場合、部屋にはベッド、勉強机、クローゼットなどは備え付けられていますが、シーツや毛布などは各自で用意する必要があります。生活用品は学生同士で譲り合ったり、近隣のディスカウントストアなどで揃えたりすることが多いようです。

食事は多くの場合、大学内の食堂やカフェテリアを利用します。食堂やカフェテリアのMeal-Plan(食費)を寮費と一緒に納める場合もあります。キッチンがついている寮であれば自炊もできます。その他、寮内には、ラウンジやシャワールーム、コインランドリーなども完備されています。

●ホームステイ

留学先大学やその提携機関が斡旋する、現地の一般家庭に滞在する形態です。語学留学プログラムなど、比較的短期の滞在期間の場合にホームステイが選択されることが多くあります。家具付きの1人部屋が与えられ、ホストファミリーと一緒に、その家族の一員として留学期間を過ごします。

ホストファミリーの家族構成は様々で、両親と子供、老夫婦、シングルペアレントと子供、未入籍のカップルなど多岐にわたります。また、人種や宗教なども家族ごとに違います。一般家庭の中で留学先の生活様式や文化を学ぶことができると同時に、留学先に「家族」ができる貴重な経験でもあります。



留学先でのお金の扱い方

①クレジットカード

海外で現金をたくさん持ち歩くのは危険です。日本と違い、特に英語圏の国では、スーパーマーケットや自動販売機、電車の券売機でもクレジットカードが使えるところがほとんどです。クレジットカードは本人以外使用できません。渡航するまでに、自分名義のクレジットカードを作っておくと便利です。

クレジットカード発行会社(楽天、三井住友銀行、イオン、TSUTAYA等)は、どこを利用しても構いませんが、クレジットカードブランドはVISAかMasterCardを作るのがおすすめです。※JCBは留学先国によっては使用できないことがあります。

クレジットカードを使えば、ショッピングとキャッシングができます。お店でカードを使って支払ったり(ショッピング)、VISAやMasterCardの表示があるATMでお金を引き出したり(キャッシング)することができます。毎月決められた日(カード会社によって異なる)に、登録した銀行口座から、使用額がカード会社規定のレートで日本円に換算されて、引き落とされます。

②MoneyT Global/Cash Passport

MoneyT GlobalはVISAブランド、Cash PassportはMasterCardブランドですが、機能は同じです。クレジットカードは、使った分を後日口座引き落としで支払う(後払い)一方、これらのカードはプリペイド(先払い)です。あらかじめ、まとまった金額を、日本の指定口座に入金しておき、その金額分だけ使用することができます。日本にいる家族などから定期的に振り込んでもらえば、一度にたくさん使ってしまう心配もありません。使用方法はクレジットカードと同じく、お店でカードを使って支払ったり、VISAやMasterCardの表示があるATMでお金を引き出したりすることができます。日本で外貨両替するより、現地でこのカードで引き出した方が、手数料が安く済むことが多いです。

③デビットカード

銀行口座を開設すると、キャッシュカードにデビットカードの機能がついていることも多いです。お店でもネットショッピングでもカード決済することができます。利用した金額はすぐに口座に反映され、預けている金額分だけ使用できます。もちろん、ATMでの引き出しも可能です。

【補足】Cheque, Savings or Credit?

カードを使っている精算時、これらの3つのボタンの選択肢があることがあります。クレジットカードの時はCredit、デビットカードの時はSavingかChequeのことが多いですが、カード発行会社や銀行に事前に確認しておくようにしましょう。

語学学修について ※主に私費留学の場合

以下の点を意識しながら、現地での学修に取り組んでください。

①留学先の言語を出発前から必ず勉強しておくこと

留学先学校によっては、上級クラスにいくほど多国籍の学生が増え、日本人が少ない傾向があります。出発前に少しでも語学力を身につけておくと、現地での友達作りや、意思の疎通がスムーズにすすみ、現地でトラブルに巻き込まれることも減るでしょう。留学前に自分の語学力を知る上でも、留学出発前に語学試験を受けておくのもいいでしょう。留学から帰国して語学力がどれだけ向上したかを測定するいい目安になります。留学準備等であまり時間がない場合でも、空港での入管審査、現地スタッフやホストファミリーへのあいさつ、お店やレストランでの表現、日本の時事問題についての答え方など必要な表現だけでも覚えていくようにしましょう。

②留学先では、世界中に友人を作るためにも積極的に話そうすると自然に語学力も上がります。留学先では、“あなた＝日本人代表”です。語学の勉強に加えて、現地の人に説明できるように、知っているようで知らない「日本」についても調べておきましょう。

③留学を就職活動に活かすには…

企業の採用では、「留学経験そのもの」が強みになるのではなく、留学して「どういう経験をして語学力をどう向上したのか」「現地でどんな努力をしたのか」「困難にどう立ち向かい、どう成長したのか」などのプロセスが重視されています。エントリーシートや面接で「留学に行きました」としか書けない、言えない留学には説得力がありません。企業は、単なる「留学しただけ学生」には興味がなく、自分の能力をどのように伸ばしたかをはっきり言えるよう、留学中から考えておいて下さい。また、留学を通して、「将来何をしたいのか」「自分にできること」「得意なこと、苦手なこと」等々を考えながら、自分の性格と向き合い自己分析するのもいいでしょう。

課外活動

留学中に最も重視すべきことは、授業への出席を始めとする勉強面であることは言うまでもありませんが、放課後や休日などの時間は、各自で自由に時間を使うことができます。留学先大学の学生や地域の人々との交流は自分次第でいくらかでも可能ですので、興味のある活動にはぜひとも積極的に参加して充実した留学生活を送ってください。

留学先大学にあるクラブ活動に参加したり、ボランティアやインターンシップに参加したりすることもできるでしょう。積極的に情報収集をして、興味のある分野の活動を探してみましよう。こういった活動に参加したことが「縁」となって、交友関係が広がったり、視野が広がって将来の道が見えてきたりすることもあります。興味があれば、留学先大学の担当者や各団体に問い合わせしてみてください。

その他、留学先大学の国際センターなどが主催している留学生のための交流プログラムもあります。語学パートナーの制度やパーティーなど、大学によって様々なプログラムやイベントが準備されていますので、有効に活用しましょう。

健康管理

日本での生活と海外での生活は当然異なります。今までは家族と一緒に生活していて、一人暮らしの経験がない人もいでしょう。健康に留学生活を送るために、予備知識を持ち、日ごろから注意して生活することが大切です。

●出発前に準備しておくべきこと

- 常備薬を必ず持参する。(外国の薬は、身体に合わないことも多い)
- 持病がある人は、自分で対処法を十分に理解し、病気の内容やこれまでの経過を説明できるようにしておく。(英語の診断書を用意しておく、より安心です)
- 眼鏡やコンタクトレンズを着用している人は、必ずスペアを持参する。
- 海外旅行傷害保険などでは原則として歯の治療はカバーしていないため、出発前に必要な治療をしておく。歯の治療については、国によっては、良い治療を受けられなかったり治療費が高額だったりする場合があります。

●留学中に注意すべきこと

- 現地での生活に慣れるまでは、可能な限り睡眠をしっかりと、十分に休養するようにしましょう。
- 規則正しい生活を送ること。留学生活を送る中では夜遅くまで勉強することも多々あるかもしれませんが、毎日規則正しい生活を送る方が勉強の効率もあがります。メリハリのある生活を心がけること。
- 栄養のバランスに注意した食事をとること。疲れている時は胃腸に負担のかかりにくいものを選んで食べるようにしてください。
- 身体の調子がおかしいと感じたら、できるだけ早く病院を受診し、治療を受けること。大学には診療所や病院がある場合が多いので、早い時期に一度訪れてもよいかもしれません。
- 留学先で何かあった時に頼れる相談相手を見つけておくこと。困った時や悩んだ時は、一人で悩まず友人や知人、留学先大学のスタッフやアドバイザー、カウンセラーに相談しましょう。もちろん、龍谷大学のスタッフにも相談してください。
- 万が一怪我をしたら／病気になったら
- まずは大学の診療所や近隣の病院を受診すること。
- どの病院を受診すればよいかわからない場合や、緊急事態が発生した時には、身近な人に助けを求めるとともに、後述のジェイアイ保険に連絡し、適切な対応方法についてのアドバイスを得ること。
- 病院を受診した際は、必ず「診断書」と「領収書」をもらっておくこと。後日、海外旅行傷害保険を使って保険金の請求をする際に使用します。また、病院で出された処方箋で薬を購入した場合にはその費用も請求可能なので、領収書を保管しておくことをおすすめします。

保 険

海外旅行・海外留学中に起こりうるケガや病気、盗難など、外国では想定外のことが起こりがちです。留学先で病気や怪我をしたときの医療費、盗難に遭った際に補償などしてくれるのが海外旅行傷害保険です。

留学する際には、必ず保険に加入する必要があります。留学先の国や地域・大学で加入できる(または加入が義務付けられている)保険もありますが、カバーされる内容や金額が不十分な場合が多い為、海外旅行傷害保険や留学生保険への加入が必須となります。

金銭的な補償だけでなく、トラブル処理や現地での日本語サポート、日本のドクターによるトータルヘルスケアサービスを受けることができます。過去、留学をした学生の報告では、病気、盗難、事故、航空機遅延などで保険を利用した学生は少なくありません。

●加入方法は・・・

龍谷大学が指定する保険(ジェイアイ保険)に加入します。より有利な条件で加入するため、2010年度後期よりジェイアイ保険と包括契約を結んでいます。下記3つのタイプから選べます。

出発前のオリエンテーションで保険加入手続きの説明会を開催します。留学する学生は、必ず全員参加してください。

【海外旅行保険で補償される内容】

補償項目	タイプA (保険金額上限)	タイプB (保険金額上限)	タイプC (保険金額上限)
傷害死亡	2,000万円	5,000万円	5,000万円
傷害後遺障害	2,000万円	5,000万円	5,000万円
治療・救済費用	3,000万円	1億円	1億円
疾病死亡	1,000万円	1,000万円	1,000万円
個人賠償責任	1億円	1億円	1億円
携行品損害	20万円	20万円	20万円
航空機寄託手荷物遅延	10万円	10万円	10万円
航空機遅延	2万円	2万円	2万円
応急治療(既往症)	なし	なし	300万円

●注意点

1. 大学指定のジェイアイ保険に加入しますので、個人で別の海外保険に加入しないように気をつけて下さい。
2. 留学先大学で補償金額の指定がある場合や、留学先大学にて指定の保険に必ず加入しなければいけないケースがあります。その場合は、事前に留学サポートデスクへご相談下さい。
3. 海外旅行傷害保険への加入を急がれる方は、保険加入説明会前に加入することも可能です。ご希望の方は、留学サポートデスクまでお知らせ下さい。



巻末の「龍谷大学リスク対応マニュアル・海外渡航時チェックリスト」も確認すること!

危機管理

万が一、危機に遭遇した場合は…

- ①留学先学校の緊急連絡先に連絡し、指示を受け行動する。
- ②海外傷害保険会社ジェイアイ保険の24時間緊急ダイレクトサービスに連絡し、保険で補償される事柄(治療や賠償)について指示を受ける。
- ③日本のご家族と龍谷大学に連絡をする。

【注意】事故や事件の示談を自分で勝手に行わないこと!日本であってもトラブルのもとです。一人で抱え込まず必ず①②③に相談した上で判断すること。

自動車の運転

留学先で自動車を運転してはいけません。慣れない海外での車の運転は大変危険です。「外国人であること」「現地の言葉を十分に話せないこと」「学生であること」は万が一の時の責任を回避する言い訳としては通用しません。海外では道路標識や法律が日本と異なる上に、交通事故を起こしてしまった場合は多額の賠償金を請求されることがあります。

セクシャルハラスメント

日本を離れて留学するということは、言葉も文化も異なる国で生活をするということです。時に、文化の相違から意思の疎通が上手くいかず、予想もしないような誤解を招くことがあります。このような誤解が、レイプやセクシャルハラスメントを引き起こすこともあるのです。レイプやセクシャルハラスメントから自分自身を守るためには、文化の違いを理解することが大切です。また、これらは日本人だけの問題や女性だけの問題ではなく、誰もが被害者にも加害者にもなりえるのだということをきちんと認識しておきましょう。

他人からの誘いに対して、あいまいな態度は禁物です。よく知らない人と閉ざされた空間で2人きりになることも避けた方がよいでしょう。万が一トラブルが発生し、当事者同士の話し合いで解決が困難な場合は、大学の留学生アドバイザーやカウンセラーなど、信頼のおける人に相談してください。

安全の確保とトラブル回避

①自分の居所・所在を明らかに!

留学中の居所・所在は、確定や変更(休暇等で短期にどこかへ出かける時を含む)の際、家族、友人(国内外)、ホストファミリー及び大学の指定する連絡先に必ず知らせてください。

また、旅券法第16条により、外国に住所または居所を定めて3ヶ月以上滞在する日本人は、その地域を管轄する日本大使館または総領事館(在外公館)に速やかに在留届を提出することが義務付けられています。

万が一、留学先で事件・事故や思わぬ災害に巻き込まれた際には、日本国大使館や総領事館は在留届をもとに皆さんの所在や緊急連絡先を確認して安否確認、援護活動をおこないます。

【届出の方法】

留学先の滞在先に到着したら、外務省ホームページより電子届出システムを利用し届出を出す。簡単にできます(郵送も可)

【注意事項】

引越したらその都度、変更届けを出す。また、帰国後には必ず帰国届の提出を忘れずにおこなってください。

●外務省渡航関連情報(届出・証明 在留届について)

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/todoke/zairyu/index.html>

●外務省ORRnet(インターネットによる在留届電子届出システム)

<http://www.ezairyu.mofa.go.jp/>

②現地での行動のポイント

危険は自分でできる限り避けるよう行動しましょう。「自分の身は自分で守る」という基本姿勢を徹底してください。海外は、日本とは常識(特に安全面)が異なることをよく理解しておきましょう。大学以外の環境では特に、絶えず緊張感をもって行動し、安全に関する情報収集に努めてください。また、日没後は一人で出歩かない、大金を持ち歩かない、軽率な行動はとらないなどの注意も必要です。自分自身を客観的に見る目を持ち、犯罪者にとって狙われやすい格好や隙のある行動をしていないかを常にチェックするようにしてください。

大学の中には、深夜にキャンパス内を移動しなければならない際に利用できるエスコートサービスを提供している大学もあります。依頼をすれば寮まで送り届けてくれますので、留学先大学にこのようなサービスがある場合には積極的に利用してください。

③海外でトラブルにあったら

突発事故や災害が発生した時には、直ちに日本大使館・総領事館に連絡をとって指示を仰いでください。窃盗、強盗、詐欺などのトラブルにあった場合は、まず警察に被害届を出し、警察からポリスレポート(被害届)の受理書を受け取ってください。これは、その後のパスポート再発行や保険請求に必要となります。

※いずれの場合も、龍谷大学まで連絡をください。

麻薬・覚せい剤

近年、若者を中心に世界中で麻薬・覚せい剤の汚染が広がっています。留学先の国の中には、日本よりも薬物が身近に感じられる環境の国があることも事実です。特にマリファナは、タバコよりも害が少なく常習性が低いと考えられている国もあり、日本より比較的手に入りやすいことから、旅行中に手を出す人もいます。

しかし、マリファナを含む麻薬・覚せい剤は、手を出すと、身体的・精神的に薬物に依存してしまい、自発的に使用をやめることが困難になります。気軽な好奇心から薬物に手を染めないよう、海外生活の安全を第一に考え、十分に気をつけて生活してください。麻薬・覚せい剤の所持・使用は世界

の多くの国で厳しく禁じられています。国によって違いがありますが、どの国でも薬物犯罪に対してはたいへん厳しい罰則を設けています。

〈薬物犯罪に対する世界各国の最高刑〉

- アメリカ…終身刑
- フランス…無期懲役
- 韓国…死刑
- イギリス…無期懲役
- 中国…死刑
- タイ…死刑

また、マリファナを含むあらゆる麻薬・覚せい剤は違法な薬物です。売買には凶悪犯罪組織が背後で関わっていることもあり、犯罪に巻き込まれる可能性が高くなります。

絶対に麻薬や覚せい剤に手を染めないよう海外での生活の安全第一を考え、十分に気をつけなければなりません。

不安があれば留学先の職員や警察、龍谷大学の教職員に相談してください。

ストレス対処法

慣れない生活、内容が理解できない授業等で、海外ではストレスがたまりがちです。不安になった場合はいい相談相手を見つけ、一人で悩まず留学先のスタッフや担当の先生などに相談しましょう。日本人を避け続けるのではなく、情報収集につとめ、緊急の際には助け合いましょう。不安なことがあれば龍谷大学のスタッフまでメールをしてください。

また、皆さんが加入するジェイアイ海外保険では、トータルヘルスケアサービス(無料)があります。このサービスは、留学する皆さんの大学メールへ、毎月メンタルヘルスや健康管理に関する様々な情報がメールにて配信されます。また、直接ジェイアイの専任医師(精神保健指定医)にメールや電話で相談が可能です(通話料金は有料)。一人で抱え込まず何かあれば、このサービスを利用しましょう。

通信手段の確保

留学中、日本の家族や友人、大学関係者と連絡をとることができるように通信手段をきちんと確保しておきましょう。特にご家族とは、留学前にしっかり連絡手段・頻度について相談しておいてください。日本に残された人たちは、想像以上に異国の地にいる皆さんの身を案じています。現地に着いたら「無事に到着しました」、折にふれて「元気にすごしています」、旅行に出かける際には「いつからいつまでどこへ出かけます」といった連絡があるだけで、安心してみなさんの帰りを待つことができます。また、留学先の国・地域で地震や台風などの大きな災害や事件・事故(ハイジャック、テロなど)が発生したら、いち早く無事であることを知らせてください。「便りが無いのは良い便り」ということわざは平時にしか通用しないものです。

※危機管理については、出発前に詳しい説明会を開催します。

海外留学のための奨学金

はじめに

本学では、学生の自発的な海外交流活動を奨励するため、各学部・研究科の許可を得た留学(交換留学・私費留学)には、留学中の龍谷大学の授業料および実験実習料を全額免除されます(※1)。ただし、留学在籍料(※2)が必要です。

※1 グローバルスタディーズ学科生は、通常学費が必要です。

※2 留学在籍料…学部生:半年15万円/大学院生:半年2.5万円

交換留学生奨学金

奨学金および宿舍費免除または宿舍確保の援助が受けられる場合があります。留学先により条件が異なりますので交換留学募集要項でご確認ください。

なお、交換留学に参加するグローバルスタディーズ学科生には、初回の留学に限り一律50万円が支給されます。

また、日本学生支援機構(JASSO)「短期留学推進制度(派遣)奨学金」が支給される場合があります。(学生の応募によるものではありません。)

私費派遣留学生奨励奨学生(給付奨学金) ※国際文化学科生対象

私費留学生を対象に、留学前に目的意識を明確に定め、留学先において学業を中心とした諸活動へ積極的に取り組むための支援をおこなっています。詳細は以下のURLを確認してください。

http://intl.ryukoku.ac.jp/r_shihi/s_fund.html

提携留学先成績優秀者奨学金 ※グローバルスタディーズ学科生対象

提携留学先で優秀な成績を修めた学生を対象に、10～30万円の奨学金を給付します。詳細は龍谷大学ポータルサイト等でお知らせします。

BIE Program奨学金

BIE Program参加者を対象に現地での成績により、各プログラム最大2名の学生に下記の奨学金を給付します。

- 5-week Program (Summer/Spring) 各10万円
- Semester Program (Fall/Spring) 各30万円

龍谷大学親和会海外研修奨学金(給付)

本奨学金は国際人としての育成を目的とし、日常の研鑽テーマにもとづきそれを海外において積極的に実証・研修しようとする意欲ある学生に、親和会(龍谷大学保護者会組織)から給付されます([体験研修コース]10万円以内、[研究研修コース]30万円以内)。応募については、学生部にお問い合わせください。

海外留学のための奨学金

以下の奨学金は私費留学や短期留学、正規課程留学等様々な留学に対応する奨学金です。奨学金の受給を希望される方は募集要項を確認の上各自応募してください。なお、深草学舎グローバル教育推進センターで募集要項が閲覧できる奨学金もありますのでお問い合わせください。

- 日本政府(文部科学省)の奨学金
http://www.jasso.go.jp/study_a/scholarships.html#nihonseifu
- 独立行政法人日本学生支援機構の奨学金
http://www.jasso.go.jp/study_a/scholarships.html#jassonoshougakukin
- 地方自治体、民間団体の奨学金
http://www.jasso.go.jp/study_a/scholarships.html#sonotanoshougakukin
- 外国政府等の奨学金
http://www.jasso.go.jp/study_a/scholarships.html#gaikokuseifu
- 金融機関による教育ローン
http://www.jasso.go.jp/study_a/scholarships.html#kinyuukikan
- 海外で募集される奨学金
http://www.jasso.go.jp/study_a/scholarships.html#kaigaiboshuu

日本学生支援機構海外留学奨学金パンフレット http://www.jasso.go.jp/study_a/pamphlet_j.html

アドバイス

カルチャーショック

カルチャーショックと聞くと、多くの人は「異文化に驚き、ショックを受けること」を思い浮かべますが、実は「異文化に接することで生じる内面の様々な変化」のことを総合的に意味する言葉です。このため、身体的な変化(疲れる、眠れない、拒食・過食気味である、太った、痩せた等々)や、精神的な変化(その国が嫌いになる、イライラする、学習が進まない、早く帰国したい等々)も大きな意味でのカルチャーショックと言えます。留学を経験する人は、自分では気づかぬうちに、下述のステージII(ショック期)にいたることが多いようです。そのため、不安・イライラ・失望感・焦燥感は、誰でも異文化において経験する自然なプロセスであることと捉え、将来に対して前向きに取り組んでいけるよう客観的に考えることが重要です。

また、留学が決まった時は嬉しかったが、その後、留学が近づくにつれて不安が大きくなり、その国に着いた時はあまり新しい文化を楽しめる状態にないこともありえます。初めて留学したり親元を離れたりする時などは、そのような不安が大きくなると思われます。このような人は、目的とする国に着いた時は不安で充実感が少し低くなりますが、現地での生活に慣れるに従って、下述のステージI(ハネムーン期)に移っていきます。

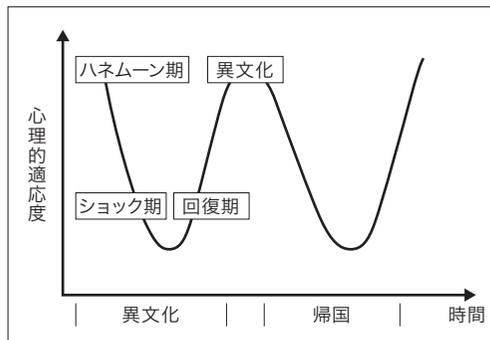
異文化適用のプロセス

留学する場合、留学先についての知識が事前であればあるほど、現地に着いてからの適応は容易になると言われます。しかしながら、いくら頭で理解していたとしても、自分がこれまで慣れ親しんだ習慣や考え方は、それほど簡単に変えることはできません。また、留学先の道德意識や生活信条などの「見えない文化」は、現地に行って初めて、現地の人と直接交流してからわかることも多いです。

今までとは異なるものや初めてのもの、理解できないことと出会うと、我々の内面には様々な変化が起こります。このような変化(異文化適応)には、ある一定のパターンがあることが知られています。そして、異文化適応における典型的な内面的変化は、以下のようなIからIVのステージで構成されるW字の曲線としてモデル化されています(Gullahorn, J.T., & Gullahorn, J.E.)。

I ハネムーン期:環境の全てが新しく楽観的に異文化に対応することができる時期

見るもの、聞くものがすべて新鮮で、新しい文化に対する興奮と期待感を持つ時期です。食べ物や景色、服装などの「見える文化」が中心で、現地の人の価値観や生活信条などの「見えない文化」までは気づいていないことが多いです。ほとんどの短期旅行者は、このままのステージで旅行を終えます。



II ショック期:新しい文化に敵対心を持ち、異文化をステレオタイプの的に捉える時期

期待あふれる興奮状態から、現実的で落ち着いた生活に移るにつれ、「見える文化」から「見えない文化」に直面するようになります。今まで抱いていた期待が失望へ、興奮が落胆へ変わることもある時期です。このような状況を、いわゆる「カルチャーショック」と呼びます(下記参照)。各個人の性格や考え方、経験の程度によって、ちょっとした焦燥感で終わる場合もあれば、その文化に対する強烈な敵意と変わることさえあります。最悪の場合、現地に身を置くことができず、帰国してしまうこともあります。

III 回復期:言語や周りの環境にも慣れ、徐々に文化変容が進む時期

「カルチャーショック」から抜けだし、異文化への適応が始まる時期です。今までわからなかった「見えない文化」が見えるようになり、現地での暮らし方やふるまい方にも慣れてきます。文化の違いからくる孤独感や焦燥感も次第に軽度になり、現地の人との交流が上手いきき始め、上手いいったことが自信に繋がっていきます。

IV 安定期:異文化適応がほぼ完成して、新しい習慣を受容し楽しむことができる時期

現地の人との適切なコミュニケーションの仕方が身につく時期です。異文化における不便を感じる事が少なくなり、文化の違いを理解し、その違いを受け入れることができるようになります。新しい文化での様々な経験から視野の広い見方や考え方ができるようになってきます。このステージになって初めて、本当の意味での異文化理解が始まるとも言えます。

+α リエントリー・ショック/逆カルチャーショック

一度、異文化の中に身を置き、その後、自文化の中に帰った時、自文化が以前と異なったもののように見え、まるで自分が異文化の中に入ったかのような感覚になることがあります。これを「リエントリー・ショック」あるいは「逆カルチャーショック」などと呼びます。これは、異文化の中に入った時と同様の心理状態を経験するとも言われます。

異文化に慣れ親しみ、その文化に適応した人ほどそのような傾向が強いようです。留学を経験した場合、個人の感じ方によるところが大きいですが、それほど大きなショックではないにしろ、何かしらの違和感をもつことが多いようです。

国内でも、引っ越しで長年違う地域に住んだ後、また以前住んでいた地域に戻ると、一種の戸惑いを感じる場合があります。これも、一種の逆カルチャーショックとして捉えることができます。

異文化適応は国外だけでなく、国内でも経験するものです。異文化への適応が円滑に進むことが、留学先における勉学の充実度を高めることにもなります。どんな人でも、様々な異文化適応を経験することになりますので、自分の適応プロセスを知り、どのように対処すべきかを客観的に考えられるようになることが重要です。

実際にカルチャーショックを感じたときには、身近なアドバイザーやカウンセラー、友人に気軽に相談することが重要です。カルチャーショックを感じた出来事を肯定的に受け止め、それを自分なりに克服すれば、自文化と他文化の長所と短所を冷静に比較できる目をもつことができるようになり、状況に応じて臨機応変に行動できる能力が培われることでしょう。

また、逆カルチャーショックを受けた時には、自分自身を肯定的にとらえることが重要です。一度カルチャーショックを乗り越えて異文化に適応できたからこそ、帰国後に逆カルチャーショックが起こっているため、「自分は2つの文化に適応できた」と日本と留学先両方の良い面、悪い面について考えることができるようになったという積極的な考え方をするように心がけましょう。

個人差はありますが、概ね上述の異文化適用プロセスの流れで、カルチャーショックも逆カルチャーショックも、月日が解決してくれます。あまり焦ることなく、自分の置かれた環境を客観的に捉え、どのようにしたら自身の「留学体験」を卒業後の進路に生かせるかを考えましょう。

留学における注意点

奨学金について

●私費派遣留学生奨励奨学金

長期(私費)留学の面接とは別途奨学金の選考を実施。選考結果は、次のセメスター開始までに全ての応募者(保証人宛)に書面にて郵送されます。次のセメスターに入っても、保証人宛に連絡がないようであれば、以下までお問い合わせ下さい。

【問い合わせ先】

グローバル教育推進センター(和顔館1F)

TEL:075-645-7898 E-mail: r-globe@ad.ryukoku.ac.jp

●日本学生支援機構奨学金

留学中にも、継続して奨学金を受給することが可能。出発前に、各自で学生部にて所定の手続をおこなうこと。その他の奨学金制度を希望する場合は、以下までお問い合わせください。

【問い合わせ先】

学生部(4号館1F)

TEL:075-645-7889 E-mail:gakusei@ad.ryukoku.ac.jp

演習応募について(2年次生対象)

対象者:3年次より演習受講を希望する学生

応募手順は、ポータルサイト、manaba、学部掲示板でお知らせします。

演習履修について(3・4年次生対象)

対象者:演習選考に応募し、所属ゼミが決まっている学生
登録手順:

1. Web登録期間中にポータルサイトで登録
(確定ボタンまで押し、登録を完了させる)

2. 留学中は担当教員から遠隔指導を受ける

注意事項:演習のWeb登録を履修登録期間中に怠らない。出発前に担当教員と遠隔指導について相談し、課題提出方法・担当教員のメールアドレスを各自必ず確認しておくこと。

出発日・帰国日について

●半年間留学

【後期】 夏休み開始(前期定期試験期間終了)以降より出発可 ▶ 3月31日までに帰国
※31日には日本に到着しておくこと

【前期】 春休み開始(後期定期試験期間終了)以降より出発可 ▶ 9月第1週目までに帰国
※後期開始前までに日本に到着しておくこと

追試期間と留学期間が重複する場合について

「追試験の受験資格」(履修要項参照)に該当する事由によって定期試験を欠席し、追試験が必要になった学生が、追試験期間中に派遣留学プログラムに参加する場合、速やかに所属学部教務課まで相談してください。(その科目の試験日を含めて4日以内(土・日・祝日は含まない。ただし、土曜日が試験日の場合は試験当日を含む4日以内)に相談してください)

履修登録について

留学中の学生は、留学期間中、次の科目の履修登録を必ずおこなってください。

その他の科目の履修登録は必要ありません。

科目名	SNSを活用した異文化交流実践 ※登録必修(2019年度以降入学の 国際文化学科生は不要)	演習
交換留学	○	○
私費(長期)留学	○	○
提携留学	○	○
BIE		○

注意事項:留学中は、龍谷大学のポータルサイトや龍谷大学の学籍番号メールを頻繁に確認して下さい。龍谷大学からの重要なお知らせを見逃さないよう注意!

※「SNSを活用した異文化交流実践」に関しては、次ページを参照。

留学中教育「SNSを活用した異文化交流実践」について(長期留学者対象)

実現した留学と皆さんの学びをつなげるため、国際学部では独自SNS(ソーシャルネットワーキングシステム)を活用し、留学先での異文化交流を促進してきました。現在は同様の取り組みを「manaba」を使っておこなっています。



1 登録方法

BIE Programを除き、長期留学する学生は必ず登録しなければなりません。詳細は留学出発前のオリエンテーションで説明します。(※ただし、2019年度以降入学の国際文化学科生は対象外)

2 正課科目としての履修

この科目は留学中の学生同士が繋がる事ができるだけでなく、指定された課題を一定数クリアすることで、留学中にも関わらず「SNSを活用した異文化交流実践(Overseas Cross-Cultural Practice through SNS)」(2単位)を履修することができます。

1)履修方法

通常科目と同じように、学期開始時にポータルサイトからWEB登録をおこない、受講します。

2)合格した場合の単位認定について

	国際文化学科	グローバルスタディーズ学科
単位認定先	学科専攻科目2単位	<p style="text-align: center;">必須科目</p> 学科専攻科目として認定され、卒業要件の「留学科目(22単位)」のうち、2単位として算入

3 過去の優秀レポート

先輩の優秀レポートが学部ホームページにて見ることができます。

http://www.world.ryukoku.ac.jp/tng_net/index.html

この科目は、授業である側面の他に、留学先での日記を公開できたり、友達を招待したり、自分のコミュニティを作成したりと、海外での生活を自由を楽しむためのツールでもあります。

卒業論文について(4年次生)

対象者:留学期間中に卒業論文を履修し、提出予定の学生
提出時期:ポータルサイトやmanabaなどにおいて確認してください。

注意事項:出発前に遠隔指導・代理提出を担当教員に相談し、必ず指導をしてもらうこと。また、出発前に卒業論文の提出要項や提出に必要なフォームを確認しておく。
※期日厳守のためスケジュールを確認の上、余裕をもって完成させるようにしておく。

留学月報/ポータルサイト(私費留学生)

対象者:私費(長期)留学の学生全員

登録手順:ポータルサイト「留学月報」より毎月入力

月報の投稿方法:ポータルサイトにログインし、アンケート欄の【20XX年度前期/後期出発 国際文化学科長期私費留学「留学月報」記入フォーム】から入力

注意事項:約1ヶ月に一度は月報を執筆すること。質問があり直接教務課にメール連絡をしたい場合は、件名に必ず、『学籍番号』『氏名』『用件』を書くこと。



～留学経験者からの話～ 持参してよかったもの

- パソコンやiPad、USB
(課題やDVD・写真の保存など、日本との連絡手段にスカイプが使えると便利)
- iPhoneやスマートフォンの携帯電話(Wi-Fiのみの利用)
- 洗濯ネット(他の人と区別するため)、体を洗うタオル
- 現地で購入したプリペイド式携帯電話(安い)
- デジカメ(動画撮影機能つき)
- サングラス・日焼け止め・帽子(南半球は紫外線が日本の数倍)
- 羽織りもの(日本に比べ朝晩の気温差が激しい、気温の調整のため)
- 多めの下着(洗濯は毎日できないと考える。1週間分あれば十分)
- 防寒下着(ヒートテック・厚手のタイツ)
- カイロ(機内持ち込み手荷物へ、事前に航空会社へ確認して下さい)
- 文法書・参考書、ガイドブック(日本語のもの)
- ポケットティッシュ(軽いので梱包の際クッション代わりに使用)
- 化粧品(液体は必ずスーツケースに入れること)
- 腹痛の薬や頭痛薬など常備薬(外国の薬が合わないことが多い。環境が変わるため。)
- 国際学生証ISICカード(ヨーロッパは特に必要) ※詳しくは生協カウンターにて
- クレジットカード、デビットカード、キャッシュパスポート
- うがい薬、目薬(日本より乾燥している)
- 文房具(日本に比べて高い。あれば便利。)



留学サポートデスクについて

グローバル教育推進センター(和顔館1F)には、
国際学部留学サポートデスクがあります。
留学経験のある日本人アドバイザー4名が担当しており、
様々なサポートをおこなっています。
留学に関してわからないこと、不安なことがあれば、
何でも気軽に相談してください。



FAQ

留学全般編

Q.1 留学しても4年間で卒業できますか？

龍谷大学の許可を得て出発する長期留学は在学期間に含まれます(交換・私費・提携の3つすべて)。帰国後、留学中の単位認定を希望し認定された場合は4年間で卒業も可能です。ただし、認定される単位は、日本で修学するよりも少なくなる場合も多々あります。1年次から履修計画を綿密に立て、留学に備えましょう。

Q.2 留学中の演習や卒論はどうなりますか？

2年次後期に留学する場合、留学先から演習に応募する必要があります。3年次に留学する場合の演習は、メール等を利用して、演習担当教員により遠隔地指導が行われます。前もって担当教員と相談しておきましょう。4年次に留学する場合は、卒論の提出方法・提出時期を指導教員と事前に確認しておきましょう。

Q.3 留学中の龍谷大学の授業料はどうなりますか？

<交換留学>

■国際文化学科

授業料は免除、留学生在籍料として半年間15万円(学部生の場合)が必要です。なお、留学先学校の授業料も免除されます。

■グローバルスタディーズ学科

留学期間中も通常学費を納入することとなります。

<私費留学> 【国際文化学科対象】

授業料は免除、留学生在籍料として半年間15万円(学部生の場合)が必要です。なお、海外留学先学校の授業料は自己負担です。

<提携留学> 【グローバルスタディーズ学科対象】

留学期間中も通常学費を納入することとなります。

Q.4 成績配布時、すでに留学先へ出発していますが、成績はどう確認すればよいですか？

保証人用の成績表が、保証人宛に親和会より送付されます。また、学期開始後しばらくすれば、ポータルサイトでも自身の成績が確認できるようになります。

Q.5 海外旅行傷害保険とは何ですか？加入する必要がありますか？

留学中、万全の注意を払っていても、事件や事故・災害に巻き込まれる可能性があります。また、健康に自信があっても、日本と違う環境でのストレスや疲労により、思いがけない病気にかかることもあります。こうした予期できないトラブルに備え、龍谷大学の制度を利用して留学へ行く学生は、海外旅行傷害保険の加入が義務づけられており(保険料は自己負担)、下記の費用が補償されます。

●病気やケガ(交通事故等)のとき

・診察費、入院費、緊急移送費など・治療に必要な交通費や通訳雇入費用など

・入院後、帰国するための交通費・救護者(家族等)の渡航、宿泊費用

●盗難や偶発の事故により携行品が損害を受けたとき

・損害金額の一部

●あやまって他人にケガをさせたとき(他人のモノを壊したとき)

・法律上の賠償責任を負った場合、その損害賠償金

●航空機が遅れたとき

・遅れによって生じた宿泊費、食事代などの自己負担費用の一部

詳しくは、留学出発前の海外旅行傷害保険加入説明会にて説明します。

Q.6 教職課程を履修しているのですが、留学にどんな影響がありますか？

教職課程を履修している場合、何年次に留学するかが重要になります。早めに国際学部教務課(紫英館1F)や、教職センターで相談しましょう。また、留学先をもって認定した科目は教職科目として認められませんので、注意してください。

Q.7 留学中、就職活動のために何ができますか。

日本から離れた留学先でも、各企業のホームページから採用情報を確認したり、学生のための就職情報サイトから、各企業にエントリーしたりすることができます。留学先でも一般常識やSPI試験のための勉強がしたいと思う人は、日本から参考書を持っていくようにしましょう。また、留学生活は企業に自己アピールするための「ネタ作り」の好機です。留学先で、毎日「今しかできない事」を大切に、帰国後の自分に繋がる、あるいは帰国後の目標に活かせる留学生活を送ることが大切です。

龍谷大学キャリアセンターでは留学中のため窓口相談に来られない学生に対し、メールでの相談も受け付けています。不安に思うこと等あれば、メールする際のマナーを守り、遠慮無く連絡してください。

龍谷大学キャリアセンター

代表メールアドレスcareer@ryukoku.ac.jp

FAQ

私費留学編

Q.1 費用が安い国はどこですか？ おすすめの学校はありますか？

留学費用の大半を占めるのは授業料と滞在費です。授業料は、同じ国でも学校によって、大きく異なります。また、授業料が安い学校を見つけても、龍谷大学の条件に合う期間にその学校の授業が開講されていなければ、私費留学として留学することはできません。

また、同じ大学に通っても、寮やホームステイなど、滞在方法によってかかる費用も変わってきます。

開講時期や授業料、滞在費は各学校のホームページに記載されています。自分でひとつひとつ調べて、電卓をたたき、自分の優先事項にあった学校を見つけてください。

Useful words : 大学名+ESL、

大学名+English program、

Date And Fees、Accommodation

留学サポートデスク(和顔館1F)では、過去に留学した学生の帰国報告書・レポートや現在留学中の学生が毎月更新する月報を公開しています。積極的に活用しましょう。

FAQ

留学後編

Q.1 学校からシラバスが発行されないのですが…

留学先のスタッフ(教員やオフィスの担当者)に直接交渉して対処してください。授業内容がわかるものが一切発行されない場合は、「発行していない」という公式文書を学校からもらってください。

Q.2 成績表・修了証がもらえません

成績表や修了証がないと単位認定できません。万が一、学校から発行できないと言われた場合は、帰国前に必ずメールにて留学サポートデスク担当者まで相談してください。

Q.3 成績表や修了証が帰国後2週間以内に提出できないのですが…

遅れて提出する場合は、遅れる理由、提出予定期日を記載した遅延理由書を作成し、その時点で揃っている書類とあわせて提出してください。

※遅延理由書のフォーマットはポータルサイトから入手できます。

Q.2 自分で留学手続きができますか？ おすすめの留学会社はありますか？

手続きを自分で行うことで、現地で生活する上で必要な英語表現や情報が身につきます。早い段階で、留学に必要な手続きと手順を全て把握しておきましょう。しかしながら、時間がない場合や、ビザ発給手続きなどを一人でするのが不安な場合は、留学会社を利用することも選択肢のひとつです。なお、龍谷大学が勧める留学会社はありません。利用した経験者に尋ねたり、自分で探したりして判断し、自己責任で活用してください。

Q.3 留学期間を延長したい。留学先を変更したい。どのような手続きが必要ですか？

半年間の留学で、留学許可期間内の延長については、早めに留学サポートデスクに相談の上、留学先学校の手続きを行ってください。

半年間の留学を1年間に延長したい場合や、半年間の留学を終えた後、別の学校でさらに半年間勉強したい場合は、「新しい留学」を申請する形で手続きを進めます。留学中であっても、日本にいる場合と同様の締切日までに、所定の書類を記入・捺印し、提出してください(郵送可)。ただし、面接は免除されます。

FAQ

提携留学編

Q.1 留学先で不合格の科目がいくつかあります。卒業要件は満たしませんか？

留学先での成績を考慮しながら、単位認定をおこないますが、卒業要件である留学科目22単位分を満たさない場合も考えられます。その場合は学生が、再度留学するか、帰国後に学科が指定する科目(留学実践指定分野)を受講し合格するかのどちらかを選ぶことになります。

Q.2 自分が希望する留学先には、必ず行くことができますか？

基本的には、学生の希望を叶えるべく調整をおこないます。ただし、留学先は語学スコアやスーパーバイザーとの面談をもとに総合的に決定しますので、場合によっては希望先とはならないこともありえます。

学生外国留学規程

昭和53年11月21日

第1条 龍谷大学に在籍する学生及び大学院学生の留学に関する事項については、龍谷大学学則及び龍谷大学大学院学則及び龍谷大学短期大学部学則の定めるところによるもののほか、この規程による。

第2条 この規程の「留学」とは、修学に必要な特定の授業科目を履修するために外国の大学へ受講に行く場合及び学術研究、文化交流のため国外の大学へ研究の目的で行く場合をいう。

- 2 前項にかかわらず、大学が教育上有益と認めるときは、国外における研修等を留学と認めることがある。
- 3 前項の適用については別に定める内規による。

第3条 留学の対象となる外国の大学とは、本学との間に事前の留学生交換協定のある大学若しくは学士の称号及び学位授与権をもつ大学のうち、学長が特に指定する大学でなければならない。

第4条 留学(BIE Program留学を除く。)する者は、次のいずれかの要件を満たしていなければならない。ただし、国際学部グローバルスタディーズ学科への3年次編転入生、及び本学出身の大学院生は、この限りではない。

- (1) 学部学生については、本学に1ヶ年以上在学し、留学前年度に卒業要件に係る単位のうち、20単位以上を取得していること。
 - (2) 大学院生については、本学に1ヶ年以上在学し、留学前年度に修了要件に係る単位のうち、8単位以上を取得していること。
- 2 BIE Program留学する者の要件については、別に定める「BIE Program留学取り扱い内規」による。

第5条 留学を出願する者は、願書を提出する前に、所属する学部又は研究科において、単位認定等に関して事前に相談をしなければならない。

2 学部長又は研究科長は、留学を出願する者が、留学する大学での履修すべき授業科目、単位数等を決定するため、指導教員を指定し、審査するものとする。

第6条 出願者の所属する学部長又は研究科長及び指導教員が、書類の審査及び面接試問等により、出願者にとって留学が有益であると判断したときには、これを教授会又は研究科委員会に諮り、留学の可否を審議しなければならない。

第7条 出願者は、前条の教授会又は研究科委員会の審議を経た後、必要な書類を整え、学長宛申請し承認を得なければならない。

2 提出書類は、次の通りとする。ただし、BIE Program留学の出願者の提出書類は、別に定める。

- (1) 留学生願書(本学所定のもの)
- (2) 成績証明書
- (3) 教授会の審議を証する書面
- (4) 指導教員の推薦書
- (5) 健康診断書
- (6) 身元保証書

第7条の2 前条の学長の承認を得た者(以下「留学決定者」という。)は、留学期間中、大学が指定する留学保険(海外旅行保険)に加入しなければならない。

2 前項の留学保険の保険金額は、別に定める。

第8条 留学を終了し帰国した場合は、ただちに所定の帰国届を提出しなければならない。

第9条 留学期間は、在学期間に算入し、その期間は半年間若しくは1ヶ年間とする。ただし、学長が、第2条の履修及び研究のために必要と認めるときは、留学先大学と協議のうえ、その期間を延長することができる。

第10条 留学期間中、留学先大学で履修した授業科目の単位を本学の卒業若しくは修了の要件の単位として認定を受けようとする者は、留学先大学の作成した講義時間数、単位数及び成績を証明する書類を添付して願出しなければならない。

2 提出書類は、次の通りとする。

- (1) 履修科目登録表
- (2) 履修科目の成績証明書(時間数、単位数を記入したもの)
- (3) 単位換算に必要な受講時間割
- (4) その他(留学生の指導教員の所見等)

第11条 単位認定は、本学の単位認定手続により、所属する学部教授会又は研究科委員会の議を経て、学部長又は研究科長が認定する。この場合の認定し得る単位数は、学部生については60単位、大学院生については10単位を限度とする。

第12条 留学中の学費納入については、学費等納入規程の定めるところによる。

第13条 学長は、この規程による留学生が、当初の目的を達成することができず、学生の本分に反する行為があったと認められるとき、ただちに留学先大学と協議のうえ、留学の許可を取り消すものとする。

第14条 留学決定者について、留学年度の講義開始、終了時期の国際的差異を考慮して、本学の履修方法に係る次の特別措置をとることができる。

- (1) 出発時期に本学での卒業の要件に係る授業科目が、履修途中の場合は、帰国後引き続き担当教員の承認を得て、履修を継続することができる。
- (2) 教授会は、留学中又は留学する卒業年次生の申し出に基づき、その学生の卒業要件に係る授業科目の単位認定及び卒業判定を帰国後に行うことができる。
- (3) 帰国時期が、履修登録期間終了後1ヶ月以内の場合は、担当教員の承認を得て、履修登録を受け付けることがある。

第15条 留学に関する事務は、国際部が処理する。

付 則

この規程は、昭和53年12月5日から施行する。

付 則(昭和56年6月30日第12条改正)

この規程は、昭和56年6月30日から施行し、昭和56年4月1日から適用する。

付 則(昭和63年7月21日第15条改正)

この規程は、昭和63年4月14日から施行する。

付 則(平成4年1月16日題名改正)

この規程は、平成4年1月16日から施行する。

付 則(平成5年5月20日第4条、第14条改正)

この規程は、平成5年5月20日から施行する。

付 則(平成6年4月21日第2条改正)

この規程は、平成6年4月1日から施行する。

付 則(平成9年4月24日第14条改正)

この規程は、平成9年4月1日から施行する。

付 則(平成12年3月14日第11条改正)

この規程は、平成12年4月1日から施行する。

付 則(平成16年5月13日第9条改正)

この規程は、平成16年5月13日から施行する。

付 則(抄)(平成17年7月21日第15条改正)

この規程は、平成17年7月21日から施行する。

付 則(平成18年3月9日第1条、第2条、第4条、第5条改正)

この規程は、平成18年4月1日から施行する。

付 則(平成20年11月6日第7条の2新設)

この規程は、制定日から施行し、平成20年11月6日以降に留学を開始する者に適用する。

付 則(平成22年7月1日第7条の2改正)

この規程は、平成22年8月1日から施行する。

付 則(平成26年10月30日第4条、第5条、第7条改正)

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

国際学部海外留学等の単位認定に係る取扱内規

制定 平成27年 3月 4日
一部改正 平成29年 5月31日

(目的)

第1条 この規程は、学生外国留学規程第2条第2項並びに第3項に基づき、国際学部所属学生の海外における留学等に対する単位認定について必要な事項を定める。

(定義)

第2条 単位認定の対象となる留学等とは、長期留学と短期留学をいう。

2 長期留学は、次のものをいう。

- (1) 交換留学協定に基づく交換留学
- (2) 国際文化学科における学位の称号及び学位授与権を持つ大学またはそれと同等の機関と認められる機関への自己応募留学
- (3) グローバルスタディーズ学科における提携留学(インターンシップ含む)

3 短期留学は、次のものをいう。

語学研修、その他の研修、フィールドワーク、インターンシップ等をいう。

(期間)

第3条 長期留学の期間は在学期間に算入し、その期間は学生外国留学規程第9条に基づき、1年間または1学期間とする。ただし、特に教育上有益と認められるときは、その期間を延長することができる。

2 短期留学の期間は、原則として、学年暦に定める夏期休業および春期休業の期間内とする。

(手続き)

第4条 長期留学(自己応募)を希望する学生は、事前に次の書類を国際学部長(以下、学部長という)に提出しなければならない。

- (1) 留学生願書(留学計画書、留学誓約書を含む)
- (2) 成績証明書
- (3) 指導教員の推薦書
- (4) 健康診断書
- (5) 留学先大学(機関)からの受入通知書の写し
- (6) 留学先大学(機関)の資料

学部長は、国際学部教務主任(以下、教務主任という)に対し、長期留学(自己応募)に係る提出書類の検討を指示し、教務委員会委員は学生と面接をおこなう。

なお、交換留学の手続きは交換協定留学生に関する内規による。また、グローバルスタディーズ学科の必修留学として認める交換留学先については、毎年度見直しをおこない、教授会の承認を得る。

2 長期留学(提携)を希望する学生は、事前に次の書類を国際学部長(以下、学部長という)に提出しなければならない。

- (1) 留学生願書(留学計画書、留学誓約書を含む)
- (2) 成績証明書
- (3) 指導教員(スーパーバイザー)の推薦書
- (4) 健康診断書
- (5) 留学先大学受講科目希望調査票(学部の科目を受講する者のみ)
- (6) 語学スコア(写し)

学部長は、教務主任に対し、長期留学(提携)に係る提出書類の検討を指示し、グローバルスタディーズ学科所属教員は学生と面接をおこなう。

3 短期留学を希望する学生は、事前に次の書類を学部長に提出しなければならない。

- (1) 短期留学計画書
- (2) 指導教員の推薦書
- (3) 短期留学誓約書
- (4) 短期留学禁止事項遵守誓約書

学部長は、教務主任に対し、短期留学に係る提出書類の検討を指示し、教務主任はこれを検討の上、必要に応じて学生と面接をおこなう。

(許可)

第5条 教務主任は、留学等が学生にとって有益であると判断したときは、教務委員会に諮り、可否の審議をしなければならない。

2 教務主任は前項の審議について学部長に報告し、教授会の承認を得なければならない。

3 留学が承認された場合、別に定める基準に基づき、出国前に大学が指定する留学保険(海外旅行保険)に加入しなくてはならない。

(単位認定)

第6条 単位認定は、留学先大学等における学修の成果(成績証明書・修了書)およびレポート、あるいは教授会の承認するプログラムの成果に基づき、留学の内容に応じて次の各号の基準によりおこなう。

(1) 長期留学

次の卒業要件分野の単位として認定することができる。

国際文化学科	グローバルスタディーズ学科
国際文化学科外国語科目	グローバルスタディーズ学科外国語科目
国際文化学科専攻科目	グローバルスタディーズ学科専攻科目
国際文化実践プログラム	(国際文化学科提供科目を含む)

認定される上限単位は、学則第37条3項に基づき60単位とする。また、1学期間の認定上限単位は22単位とする。ただし、留学中に受講する「演習」および「SNSを活用した異文化交流実践」に関しては1学期間の認定上限単位である22単位に含めない。

なお、原則として上記科目区分の中で単位認定をおこなうが、学生が特に希望する場合は、「講義科目報告書」を提出することにより、科目区分の順にかかわらず認定することができる。

また、グローバルスタディーズ学科に所属する学生については、認定した科目を卒業要件として定める「留学として認定する科目群」に算入する。

(2) 短期留学

次の卒業要件分野の単位として、現地での学修時間および学修プログラムの内容に応じて2単位以上4単位まで認定することができる。

種別	国際文化学科	グローバルスタディーズ学科
語学研修	国際文化学科外国語科目	グローバルスタディーズ学科外国語科目
その他研修		グローバルスタディーズ学科専攻科目
フィールドワーク	国際文化実践プログラム	(国際文化学科提供科目を含む)
インターンシップ		

教員が企画する「語学研修」以外の短期研修に限っては、原則として教員が「対象となる学科及びコース」、「帰国後の認定分野」を事前に教務委員会まで届け出て、承認を得ることとする。なお、指定する認定分野は、対象年次によって次のとおりとする。

(1) 1年次以上対象：「学科基礎科目」のみ

(2) 2年次以上対象：「学科基礎科目」もしくは「学科専攻科目」

ただし、卒業年次生は随意科目として認定する。

なお、単位認定対象となる短期留学は原則として在学中に2回以内とする。

(3) 単位算出方法

3-1. 長期留学に関しては以下のとおりとする。

(語学プログラムの場合)

留学先で語学プログラムを受講した際には、学修時間1,350分を1単位として単位数に換算した上で、本学部の単位認定対象科目として認定をおこなう。単位認定対象科目については、別に定める。

(講義科目の場合)

留学先で講義科目を受講・修得し、「講義科目報告書」の提出を以て本学部の開講科目に読替を希望する場合は、教務委員会の審議・承認のもとに個別認定をおこなう。その際は学修時間による単位換算方法を採らない。

(交換留学協定に基づく交換留学の場合)

留学先で受講した科目の内容を確認の上、本学部の開講科目に読替認定をおこなう。読替を希望しない場合は、学修時間1,350分を2単位として換算し、本学部の単位認定対象科目として認定をおこなう。ただし、語学プログラムを受講した際には、学修時間1,350分を1単位として換算する。なお、留学先の履修要項等で証明できる自習時間や講義受講に準ずる時間がある場合は、これも学修時間に算入して単位計算をおこなうものとする。単位認定対象科目については、別に定める。

(グローバルスタディーズ学科における提携留学の場合)

各留学先にて履修する科目の単位認定基準については、別に定める留学先での履修パターンに応じて単位認定をおこなうものとする。ただし、受講プログラムの内容や受講科目の特性を考慮し、グローバルスタディーズ学科会議を経て、教務委員会が別途認めたときは、この限りではない。なお、単位認定対象科目については、別に定める。

3-2. 短期留学(自己応募)に関しては第6条第3項1の基準に則る。ただし、短期留学(学部企画)及び短期留学(教員企画)に関しては実施前に実施概要と共に単位認定案を教務委員会に提案し、その承認を得た単位数とする。

(事務)

第7条 この内規に関する事務は、国際学部教務課がおこなう。

付 則

この内規は、平成27年4月1日から施行する。

付 則(平成29年5月31日改正)

この内規は平成29年5月31日から施行する

龍谷大学リスク対応マニュアル

このマニュアルは、海外渡航時における様々な危機事象(自然災害、事故、事件、病気、非常事態など)に遭遇した場合、もしくは未然にできるだけリスクを回避または軽減するために、渡航前に対応方法などについて十分認識を行い、万全の体制で渡航することを目的として策定するものである。

【基本事項】

- 人命と身体の安全を最優先し、自分の身は自分で守る心構えを普段から持つ。
- 常に健康管理に努めるとともに、緊急時に対応できるよう加入している保険適用の医療機関を予めチェックしておくなど、万全の体制を構築しておく。
- 学生外国留学規程、海外出張旅費規程に基づき、大学が指定する海外旅行保険に必ず加入する。
- 非常時の対応に備え、常にメディア情報等を注視し、迅速な対応ができるよう備えておく。
- 非常時のための緊急連絡先を必ず事前に確認しておく。
【確認しておくべき機関等】日本大使館・領事館、現地受入機関、大学、家族等
- 旅券法第16条に基づき、外国に住所又は居所を定めて3ヶ月以上滞在する場合は、必ず当該地域に係る領事館に届け出する。
- 現地及び日本の法律を遵守する。
- 精神的な不調やストレス等を感じた時は、海外旅行保険のメンタルヘルスサービスを使用したり、大学に相談する。
- 常に外国にいることを自覚する。
- 特に観光地やベンチマークとなる施設等において、写真撮影や文化財等への対応について細心の注意を払う。
- 周囲の状況をできるだけ注視し、盗難等に遭わないようスキを見せない。
- 安易に他人を信用せず、安価なものや興味深いものにすぐには手を出さない。
- 知らない人にむやみに自分の情報を教えない。
- 夜の外出は必要最低限にし、できるだけ一人で行動することを避ける。
- 現金の持ち歩きは最低限にし、高価なものを身にまとわない。
- 荷物は自分の目の届く位置に身につける。
- 強盗等にあった場合は無理に争わず、危険を避けることを優先する。
- 犯罪にあった時や警察官に遭遇した時は、武器を取り出すのではないかと誤解されないよう、不用意にポケットに手を入れない。
- 宿舎や寮滞在中は必ず部屋の鍵をかける。
- ホームステイ等の場合は、常に帰宅時間をホストファミリーに連絡しておく。
- 現地の交通状況(交通マナー、現地の人々の行動パターンなど)を迅速に把握し、日本と状況が違うこと、自分の安全は自分で守ることを常に認識する。
- パスポート、保険証などの重要書類は、常にコピーを取り、別の場所に保管しておく。
- キッチン等での火の管理を徹底する。
- 銃、その他の武器には手を出さない。
- 麻薬、マリファナ等には手を出さない。
- 飲酒は訪問国の法律を遵守し、禁止されている場合は絶対に飲まないこと。

【危機に遭遇した場合の対応】

- 留学・研修先等の緊急連絡先に連絡し、その指示に従って行動する。
- 緊急連絡体制(国外連絡網)に基づき本学の関連部署に連絡・相談する。なお、自ら連絡できない場合などは、留学・研修先や在外公館等の関係者に、本学への連絡を依頼する。
- 在外公館の連絡・指示に従って行動する。
- 家族へ連絡する。
- 保険会社に連絡する。
- 訪問国の言葉で伝えられるよう準備しておく。

【緊急連絡先及び海外危機に関する情報収集先】

- 龍谷大学グローバル教育推進センター +81-75-642-1111(内線1380)
- 外務省海外安全相談センター +81-3-5501-8162
- 世界各地の危機情報全般……外務省海外安全ホームページ <http://www.anzen.mofa.go.jp/>
- 在外公館……外務省ホームページ世界の医療事情 <http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/index.html>
- 世界各地の感染症発生状況……厚生労働検疫所ホームページ <http://www.forth.go.jp/>

【緊急連絡カードの記入】

リスク時に備え、緊急連絡カードを事前に作成し、財布やカードケースにて常時携帯する。

海外渡航時チェックリスト

- 有効な旅券(パスポート)及び旅券のコピー
- 査証(ビザ)
- 航空券
- 渡航日程・計画に関する書類
- 現金(日本円、外貨)、クレジットカード等
- 海外旅行保険証書
- 常備薬及び医療用品
- リスク対応マニュアル、その他渡航関連書類
- 緊急連絡先(本学、大使館・領事館、旅行会社、航空会社、保険会社、クレジットカード等)を記載したもの

緊急連絡カード Emergency Contact Card

English	日本語
Name	名前
Host Institution	受入機関
Date of Birth	生年月日
Passport No	パスポート番号
Nationality	国籍
Blood Type	血液型
Local Contact	現地での連絡先
Place of Stay	滞在先
Contact in Japan ① Relation ①	日本での緊急連絡先① 本人との関係①
Contact in Japan ② Relation ②	日本での緊急連絡先② 本人との関係②
Cellphone Number	現地携帯電話番号
e-mail	Eメールアドレス
Visa Status and No	在留資格・番号

各種語学検定試験

各留学先では、受入に際して、検定試験の基準点を設けています。検定試験には、次のようなものがあります。特に、グローバルスタディーズ学科では、留学先を決定するにあたって、第2セメスターの9月に各種語学検定試験を実施し、全員がいずれかの試験を受験します。

9月の試験結果は留学先決定の基準点となり自分の実力を把握し、学習の指針とすることを目的とします。

年次	時期	実施試験	目的	受験対象	費用 大学負担	受験地
1年次	4月上旬	TOEIC-IP®	英語クラス プレイズメント	全員	○	深草キャンパス
	9月上旬	TOEIC® IP TOEFL® ITP IELTS™	2年次留学先 選考	全員	○	

※他にも受験の機会が与えられる場合があります。

1 TOEIC®

TOEIC®はTest of English for International Communicationの略称で、英語によるコミュニケーション能力を幅広く評価する世界共通のテストです。TOEIC®テストは和文英訳、英文和訳などの技術ではなく、身近な内容からビジネスまで幅広くどれだけ英語でコミュニケーションできるかというのを測ります。

また、ListeningとReadingという受動的な能力を客観的に測定することにより、SpeakingとWritingという能動的な能力までも含めた英語によるコミュニケーション能力を総合的に評価できるように設計されています。

本学では、TOEIC® IPという団体特別受験制度(IP: Institutional Program)を実施します。これは、企業・団体・学校などが任意に試験会場と日程を設定してTOEIC®を実施できる制度のことをいいます。TOEIC®公開テストと比較して次の相違点がありますが、スコアの統計の有効性については、通常TOEIC®公開テストと同等であると見なされています。

- 受験者の写真と署名が印刷された「Official Score Certificate」(公式認定証)は発行されない。
- 過去に実施されたTOEIC®公開テストと全く同一の問題が出される、いわゆる「過去問試験」である。
- 受験に際し、顔写真入り身分証明書等の確認による厳密な本人確認が必ずしも行われていない。
- 実施の日時および会場は企業・団体・学校などの実施団体が指定する。

2 TOEFL® ITP

TOEFL® ITP(Test of English as a Foreign Language, Institutional Test Program)はTOEFL®テスト作成元であるEducational Testing Service(ETS)が提供する団体向けテストプログラムです。

ITPのスコアには公的な効力はありませんが、多くの大学ではESL(English as a Second Language)に入学する場合に限り、これを受け入れの基準として認めています。

3 TOEFL® iBT

TOEFL® iBT(Test of English as a Foreign Language, Internet-Based Testing)はインターネットによるTOEFL®の試験で、この試験で獲得したスコアは英語能力を証明するものとして、英語圏の多くの大学や大学院で認められています。「読む」「聞く」「話す」「書く」の4セクションで構成され、テストセンターで1人1台コンピュータが割り当てられ、全セクションをコンピュータ上で受験します。テストの所要時間は4~4.5時間です。

留学先において、受け入れの条件としてこのTOEFL® iBTでの基準点以上のスコアを要求されることもあります。

4 IELTS(International English Language Testing System)™

英語圏の留学を目指すにあたって、TOEFL®テストと同じくらい重要なのがIELTS™(アイエルツ: International English Language Testing System)です。IELTS™は海外留学や研修のために英語力を証明する際に使うことができるテストです。IELTS™には2つのテスト形式があり、大学や大学院への留学を目指す場合は「Academic Modules」を、英語圏で学業以外の研修を考えている場合や、オーストラリア、カナダ、ニュージーランドへの移住申請をする場合は「General Training modules」を受験するのが一般的です。

試験の結果はBandで表示され、総合力の他、リスニング、リーディング、ライティング、スピーキングの分野別にBand1~9の得点域で表示されます。英語圏の高等教育機関への入学許可を受けるには、通常5.5~7.0のグレードが必要となります。

www.world.ryukoku.ac.jp



龍谷大学 国際学部 教務課
RYUKOKU UNIVERSITY

深草キャンパス 〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67

国際学部 教務課
Tel 075-645-5645 Fax 075-645-6444
world@ad.ryukoku.ac.jp

留学サポートデスク
Tel 075-645-5651 Fax 075-645-5652
studyabroad@ebisu.fks.ryukoku.ac.jp